

対象校No.222

注4

学校コード F116210105329

注3

設置年度 令和 5年度

計画の区分： 研究科の設置

注1

**認可**

注2

富山県立大学大学院 看護学研究科 看護学専攻 (必要がある場合) ○○専攻

**【認可】 設置に係る設置計画履行状況報告書**  
(改正前大学設置基準適用)公立大学法人富山県立大学  
令和6年5月1日現在

## 作成担当者

|          |                              |
|----------|------------------------------|
| 担当部局(課)名 | 富山キャンパス事務部 管理課               |
| 職名・氏名    | シユカン ヤサカ カズアキ<br>主幹・八坂 和明    |
| 電話番号     | 076-464-5410 (内121)          |
| (夜間)     | 076-464-5410 (内121)          |
| e-mail   | kanri-toyama@pu-toyama.ac.jp |

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「○○大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に  
( )書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) ○○大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「○○大学」
- 学部の設置の場合：「○○大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「○○大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「○○短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「○○大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「○○大学大学院 ○○研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「○○大学大学院 ○○研究科 ○○専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「○○大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、  
当該番号を記載してください。[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/toukei/mext\\_01087.html](https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html)4 対象校No.については、「【別紙】令和6年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、  
該当番号を記載してください。

# 目次

## 看護学研究科

| ＜看護学専攻＞           | ページ |
|-------------------|-----|
| 1. 調査対象大学等の概要等    | 1   |
| 2. 授業科目の概要        | 4   |
| 3. 施設・設備の整備状況、経費  | 11  |
| 4. 既設大学等の状況       | 12  |
| 5. 教員組織の状況        | 13  |
| 6. 附帯事項等に対する履行状況等 | 22  |
| 7. その他全般的事項       | 23  |

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

公立大学法人富山県立大学

## (2) 大学名

富山県立大学大学院

## (3) 調査対象大学等の位置

〒930-0975 (939-0398)

富山県富山市西長江2丁目2番78号 (富山県射水市黒河5180番地)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を ( ) 書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

| 職名   | 設置時                               | 変更状況 | 備考 |
|------|-----------------------------------|------|----|
| 理事長  | ( ヤマモト オサム )<br>山本 修<br>(令和5年4月)  |      |    |
| 学長   | ( シモヤマ イサオ )<br>下山 勲<br>(平成31年4月) |      |    |
| 学部長  | ( サエキ カズコ )<br>佐伯 和子<br>(令和5年4月)  |      |    |
| 学科長等 |                                   |      |    |

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を ( ) 書きで記入してください。  
(例) 令和5年度に報告済の内容 → (5)  
令和6年度に報告する内容 → (6)
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載 (昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正) するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
  - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
  - ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。  
 ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。  
 ・ 様式は、令和元年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和6年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。  
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)」により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

| 調査対象学部等の名称(学位)             | 学位又は学科の分野          | 設置時の計画 |         |                                  |         | 学生募集の停止について | 備考 |
|----------------------------|--------------------|--------|---------|----------------------------------|---------|-------------|----|
|                            |                    | 修業年限   | 入学定員    | 編入学定員                            | 収容定員    |             |    |
| 看護学研究科<br>看護学専攻<br>修士(看護学) | 保健衛生学関係<br>(看護学関係) | 2<br>年 | 10<br>人 | 2年次<br>人<br>3年次<br>人<br>4年次<br>人 | 20<br>人 |             |    |

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。  
 ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。)

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

| 区分             | 令和元年度           |                 | 令和2年度           |                 | 令和3年度           |                 | 令和4年度           |                 | 令和5年度             |                 | 令和6年度             |                 | 春季入学以外の学期区分について | 収容定員充足率 | 収容定員充足率(控除後) | 備考 |
|----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-------------------|-----------------|-------------------|-----------------|-----------------|---------|--------------|----|
|                | 春季入学            | その他の学期          | 春季入学            | その他の学期          | 春季入学            | その他の学期          | 春季入学            | その他の学期          | 春季入学              | その他の学期          | 春季入学              | その他の学期          |                 |         |              |    |
| A 入学定員         | 人<br>( )<br>[ ] | 10人<br>( )<br>[ ] | 人<br>( )<br>[ ] | 10人<br>( )<br>[ ] | 人<br>( )<br>[ ] |                 |         |              |    |
| 志願者数           | ( )<br>[ ]      | 13<br>( )<br>[ ]  | ( )<br>[ ]      | 7<br>( )<br>[ ]   | ( )<br>[ ]      |                 |         |              |    |
| 受験者数           | ( )<br>[ ]      | 13<br>( )<br>[ ]  | ( )<br>[ ]      | 7<br>( )<br>[ ]   | ( )<br>[ ]      |                 |         |              |    |
| 合格者数           | ( )<br>[ ]      | 13<br>( )<br>[ ]  | ( )<br>[ ]      | 7<br>( )<br>[ ]   | ( )<br>[ ]      |                 |         |              |    |
| B 入学者数         | ( )<br>[ ]      | 13<br>( )<br>[ ]  | ( )<br>[ ]      | 7<br>( )<br>[ ]   | ( )<br>[ ]      |                 |         |              |    |
| 入学定員超過率<br>B/A | -               | -               | -               | -               | -               | -               | -               | -               | 1.30              | -               | 0.70              | -               |                 |         |              |    |

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)  
 ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。  
 ・ ( ) 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、( )書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。  
 ・ 転入学生は記入しないでください。  
 ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。  
 ・ 報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択してください。(春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「-」を選択。)  
 ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和7年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。  
 ・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。  
 ・ 「(5) -② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

| 学年  | 令和元年度      |            | 令和2年度      |            | 令和3年度      |            | 令和4年度      |            | 令和5年度            |            | 令和6年度            |            | 備考 |
|-----|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------------|------------|------------------|------------|----|
|     | 春季入学       | その他の学期     | 春季入学       | その他の学期     | 春季入学       | その他の学期     | 春季入学       | その他の学期     | 春季入学             | その他の学期     | 春季入学             | その他の学期     |    |
| 1年次 | ( )<br>[ ] | 13<br>( )<br>[ ] | ( )<br>[ ] | 7<br>( )<br>[ ]  | ( )<br>[ ] |    |
| 2年次 |            |            | ( )<br>[ ]       | ( )<br>[ ] | 13<br>( )<br>[ ] | ( )<br>[ ] |    |
| 3年次 |            |            |            |            | ( )<br>[ ]       | ( )<br>[ ] | ( )<br>[ ]       | ( )<br>[ ] |    |
| 4年次 |            |            |            |            |            |            | ( )<br>[ ] | ( )<br>[ ] | ( )<br>[ ]       | ( )<br>[ ] | ( )<br>[ ]       | ( )<br>[ ] |    |
| 計   | ( )<br>[ ] | 13<br>( )<br>[ ] | ( )<br>[ ] | 20<br>( )<br>[ ] | ( )<br>[ ] |    |

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)  
 ・ [ ]内には、留学生の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。  
 ・ ( ) 内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。  
 ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学者数、留年者数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

| 区分<br>対象年度 | 在学者数(b) | 退学者数(a) | 内訳     |        |     | 主な退学理由<br>(留学生の理由は[ ]書き) |
|------------|---------|---------|--------|--------|-----|--------------------------|
|            |         |         | 入学した年度 | 退学者数   |     |                          |
|            |         |         |        | うち留学生数 |     |                          |
| 令和元年度      | - 人     | - 人     | 令和元年度  | - 人    | - 人 |                          |
| 令和2年度      | - 人     | - 人     | 令和元年度  | - 人    | - 人 |                          |
|            |         |         | 令和2年度  | - 人    | - 人 |                          |
| 令和3年度      | 人       | 人       | 令和元年度  | - 人    | - 人 |                          |
|            |         |         | 令和2年度  | - 人    | - 人 |                          |
|            |         |         | 令和3年度  | - 人    | - 人 |                          |
| 令和4年度      | 人       | 人       | 令和元年度  | - 人    | - 人 |                          |
|            |         |         | 令和2年度  | - 人    | - 人 |                          |
|            |         |         | 令和3年度  | - 人    | - 人 |                          |
|            |         |         | 令和4年度  | - 人    | - 人 |                          |
| 令和5年度      | 13 人    | 人       | 令和元年度  | - 人    | - 人 |                          |
|            |         |         | 令和2年度  | - 人    | - 人 |                          |
|            |         |         | 令和3年度  | - 人    | - 人 |                          |
|            |         |         | 令和4年度  | - 人    | - 人 |                          |
|            |         |         | 令和5年度  | 0 人    | 0 人 |                          |
| 令和6年度      | 20 人    | 人       | 令和元年度  | - 人    | - 人 |                          |
|            |         |         | 令和2年度  | - 人    | - 人 |                          |
|            |         |         | 令和3年度  | - 人    | - 人 |                          |
|            |         |         | 令和4年度  | - 人    | - 人 |                          |
|            |         |         | 令和5年度  | 0 人    | 0 人 |                          |
|            |         |         | 令和6年度  | 0 人    | 0 人 |                          |
| 合 計        |         | 0 人     |        | 0 人    | 0 人 |                          |

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
  - ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
  - ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
  - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{13} = \boxed{0} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{20} = \boxed{0} \%$$

- (注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

## 2 授業科目の概要

<看護学研究科 看護学専攻

### (1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

【令和5年度】

| 科目区分   | 授業科目の名称                     | 配当年次 | 単位数 |    |    | 専任教員等の配置 |     |    |    | 兼任・兼担 |    |    |
|--|-----------------------------|------|-----|----|----|----------|-----|----|----|-------|----|----|
|  |                             |      | 必修  | 選択 | 自由 | 教授       | 准教授 | 講師 | 助教 |       | 助手 |    |
| 共通科目   | 看護学研究特論                     | 1前   | 2   |    |    | 2        | 1   |    |    |       |    |    |
|  | 看護倫理特論                      | 1前   | 2   |    |    | 1        | 1   |    |    |       | 1  |    |
|  | 看護教育特論                      | 1後   |     | 2  |    | 2        |     |    |    |       | 1  |    |
|  | 看護管理特論                      | 1後   |     | 2  |    | 2        |     |    |    |       | 2  |    |
|  | コンサルテーション論                  | 1後   |     | 2  |    | 1        |     |    |    |       | 4  |    |
|  | 看護統計特論                      | 1前   |     | 2  |    | 1        | 1   | 1  |    |       |    |    |
|  | 看護ケア科学特論                    | 1前   | 2   |    |    |          | 2   |    |    |       | 2  |    |
|  | 国際看護特論                      | 1後   |     | 2  |    | 1        | 1   |    |    |       | 2  |    |
|  | ケアコミュニケーション特論               | 1前   |     | 2  |    | 1        | 1   | 1  |    |       | 2  |    |
|  | 富山県の医療保健福祉特論                | 1前   |     | 2  |    | 1        |     | 2  |    |       | 2  |    |
|  | 臨床薬理学特論                     | 1後   |     | 2  |    |          | 1   |    |    |       | 1  |    |
|  | フィジカルアセスメント特論               | 1後   |     | 2  |    | 1        | 1   | 1  |    |       | 1  |    |
|  | 病態生理学特論                     | 1前   |     | 2  |    | 1        |     |    |    |       | 13 |    |
|  | 小計(13科目)                    |      | —   | 6  | 20 | 0        | 14  | 8  | 5  | 0     | 0  | 31 |
| 看護専門科目   | 基礎看護学特論                     | 1前   |     | 2  |    | 1        | 2   |    |    |       |    |    |
|  | 基礎看護学特論演習Ⅰ                  | 1後   |     | 2  |    | 1        | 3   |    |    |       |    |    |
|  | 基礎看護学特論演習Ⅱ                  | 2前   |     | 2  |    | 1        | 1   | 2  |    |       |    |    |
|  | 成人看護学特論                     | 1前   |     | 2  |    | 4        | 1   |    |    |       |    |    |
|  | 成人看護学特論演習Ⅰ                  | 1後   |     | 2  |    | 4        | 1   |    |    |       |    |    |
|  | 成人看護学特論演習Ⅱ                  | 2前   |     | 2  |    | 2        | 1   | 2  |    |       |    |    |
|  | 老年精神看護学特論                   | 1前   |     | 2  |    | 3        |     |    |    |       |    |    |
|  | 老年精神看護学特論演習Ⅰ                | 1後   |     | 2  |    | 3        | 2   |    |    |       |    |    |
|  | 老年精神看護学特論演習Ⅱ                | 2前   |     | 2  |    | 1        |     | 2  |    |       |    |    |
|  | 母子看護学特論                     | 1前   |     | 2  |    | 1        | 2   |    |    |       |    |    |
|  | 母子看護学特論演習Ⅰ                  | 1後   |     | 2  |    | 1        | 3   |    |    |       |    |    |
|  | 母子看護学特論演習Ⅱ                  | 2前   |     | 2  |    | 1        | 1   | 3  |    |       |    |    |
|  | 地域在宅看護学特論                   | 1前   |     | 2  |    | 2        | 1   |    |    |       |    |    |
|  | 地域在宅看護学特論演習Ⅰ                | 1後   |     | 2  |    | 2        | 2   |    |    |       |    |    |
|  | 地域在宅看護学特論演習Ⅱ                | 2前   |     | 2  |    | 1        | 3   | 1  |    |       |    |    |
| 小計(15科目)   |                             | —    | 0   | 30 | 0  | 27       | 21  | 12 | 1  | 0     |    |    |
| 高度実践看護科目(老年看護)   | 老年看護学原論                     | 1前   |     | 2  |    | 2        | 2   |    |    |       |    |    |
|  | 高齢者アセスメント論                  | 1前   |     | 2  |    | 1        | 1   | 1  |    |       |    |    |
|  | 老年医学特論                      | 1前   |     | 2  |    | 1        |     | 1  |    |       | 6  |    |
|  | 高齢者高度看護実践論                  | 1前   |     | 2  |    | 2        | 2   | 1  |    |       | 3  |    |
|  | 高齢者ケアシステム論                  | 1前   |     | 2  |    | 1        | 2   |    |    |       | 3  |    |
|  | 高度実践老年看護学演習Ⅰ(慢性期における老年看護)   | 1後   |     | 2  |    | 1        | 1   | 2  |    |       | 3  |    |
|  | 高度実践老年看護学演習Ⅱ(認知症老年看護)       | 1後   |     | 2  |    | 2        | 1   |    |    |       | 1  |    |
|  | 高度実践老年看護学実習Ⅰ(専門看護師の役割実践)    | 1後   |     | 1  |    | 2        | 2   | 1  |    |       |    |    |
|  | 高度実践老年看護学実習Ⅱ(認知症高齢者への看護実践)  | 2前   |     | 6  |    | 2        | 2   | 1  |    |       |    |    |
|  | 高度実践老年看護学実習Ⅲ(慢性期における老年看護実践) | 2前   |     | 3  |    | 2        | 2   | 1  |    |       |    |    |
| 小計(10科目)   |                             | —    | 0   | 24 | 0  | 16       | 15  | 8  | 0  | 0     | 16 |    |
| 研究科目   | 看護学特別研究(研究コース)              | 2通   | 10  |    |    | 11       | 11  |    |    |       |    |    |
|  | 特定課題研究(専門看護師コース)            | 2通   | 6   |    |    | 2        | 2   | 1  |    |       |    |    |
|  | 小計(2科目)                     |      | —   | 16 | 0  | 0        | 13  | 13 | 1  | 0     | 0  | 0  |
| 合計(40科目)   |                             |      | —   | 22 | 74 | 0        | 70  | 57 | 26 | 1     | 0  | 47 |
| 卒業要件及び履修方法   |                             |      |     |    |    |          |     |    |    |       |    |    |
| <p>【研究コース】<br/>本研究科に2年以上在籍し、<br/>①共通科目から8単位(必修8単位)以上、<br/>②看護専門科目から1分野を選択し、特論2単位及び演習4単位、<br/>③共通科目及び選択しなかった看護専門科目の特論から6単位以上、<br/>④看護学特別研究10単位<br/>の合計30単位以上を修得し、修士論文の提出及び論文審査に合格すること。</p> <p>【専門看護師コース】<br/>本研究科に2年以上在籍し、<br/>①共通科目から16単位(必修6単位、専門看護師コース必修10単位)以上、<br/>②高度実践看護科目(老年看護)10科目24単位、<br/>③特定課題研究6単位、<br/>合計46単位以上を修得し、特定課題研究論文の審査に合格すること。</p> |                             |      |     |    |    |          |     |    |    |       |    |    |

【令和6年度】

| 科目区分  | 授業科目の名称                     | 配当年次      | 単位数 |    |    | 専任教員等の配置 |     |    |    | 兼任・兼任 |    |
|---|-----------------------------|-----------|-----|----|----|----------|-----|----|----|-------|----|
|   |                             |           | 必修  | 選択 | 自由 | 教授       | 准教授 | 講師 | 助教 |       | 助手 |
| 共通科目  | 看護学研究特論                     | 1前        | 2   |    |    | 2        | 1   |    |    |       |    |
|   | 看護倫理特論                      | 1前        | 2   |    |    | 1        |     |    |    |       | 1  |
|   | 看護教育特論                      | 1後        |     | 2  |    | 2        |     |    |    |       | 1  |
|   | 看護管理特論                      | 1後        |     | 2  |    | 2        |     |    |    |       | 2  |
|   | コンサルテーション論                  | 1後        |     | 2  |    | 1        |     |    |    |       | 4  |
|   | 看護統計特論                      | 1前        |     | 2  |    | 1        | 1   | 1  |    |       |    |
|   | 看護ケア科学特論                    | 1前        | 2   |    |    |          | 2   |    |    |       | 2  |
|   | 国際看護特論                      | 1後        |     | 2  |    | 1        | 1   |    |    |       | 2  |
|   | ケアコミュニケーション特論               | 1前        |     | 2  |    | 1        | 1   | 0  |    |       | 2  |
|   | 富山県の医療保健福祉特論                | 1前        |     | 2  |    | 1        |     | 2  |    |       | 2  |
|   | 臨床薬理学特論                     | 1後        |     | 2  |    |          | 1   |    |    |       | 1  |
|   | フィジカルアセスメント特論               | 1後        |     | 2  |    | 1        | 1   | 1  |    |       | 1  |
|   | 病態生理学特論                     | 1前        |     | 2  |    | 1        |     |    |    |       | 13 |
|   | 小計(13科目)                    | —         | 6   | 20 | 0  | 14       | 8   | 4  | 0  | 0     | 31 |
| 看護専門科目  | 基礎看護学                       | 基礎看護学特論   | 1前  |    | 2  |          | 1   | 2  |    |       |    |
|   | 基礎看護学特論演習Ⅰ                  | 1後        |     | 2  |    | 1        | 3   |    |    |       |    |
|   | 基礎看護学特論演習Ⅱ                  | 2前        |     | 2  |    | 1        | 1   | 2  |    |       |    |
|   | 成人看護学                       | 成人看護学特論   | 1前  |    | 2  |          | 4   | 1  |    |       |    |
|   | 成人看護学特論演習Ⅰ                  | 1後        |     | 2  |    | 4        | 1   |    |    |       |    |
|   | 成人看護学特論演習Ⅱ                  | 2前        |     | 2  |    | 2        | 1   | 2  |    |       |    |
|   | 老年精神看護学                     | 老年精神看護学特論 | 1前  |    | 2  |          | 3   |    |    |       |    |
|   | 老年精神看護学特論演習Ⅰ                | 1後        |     | 2  |    | 3        | 2   |    |    |       |    |
|   | 老年精神看護学特論演習Ⅱ                | 2前        |     | 2  |    | 1        |     | 2  |    |       |    |
|   | 母子看護学                       | 母子看護学特論   | 1前  |    | 2  |          | 1   | 2  |    |       |    |
|   | 母子看護学特論演習Ⅰ                  | 1後        |     | 2  |    | 1        | 3   |    |    |       |    |
|   | 母子看護学特論演習Ⅱ                  | 2前        |     | 2  |    | 1        | 1   | 3  |    |       |    |
|   | 地域在宅看護学                     | 地域在宅看護学特論 | 1前  |    | 2  |          | 2   | 1  |    |       |    |
|   | 地域在宅看護学特論演習Ⅰ                | 1後        |     | 2  |    | 2        | 2   |    |    |       |    |
|   | 地域在宅看護学特論演習Ⅱ                | 2前        |     | 2  |    | 1        | 3   | 1  |    |       |    |
| 小計(15科目)  | —                           | 0         | 30  | 0  | 27 | 21       | 12  | 1  | 0  |       |    |
| 高度実践看護科目(老年看護)  | 老年看護学原論                     | 1前        |     | 2  |    | 2        | 2   |    |    |       |    |
|   | 高齢者アセスメント論                  | 1前        |     | 2  |    | 1        | 1   | 1  |    |       |    |
|   | 老年医学特論                      | 1前        |     | 2  |    | 1        |     | 1  |    |       | 6  |
|   | 高齢者高度看護実践論                  | 1前        |     | 2  |    | 2        | 2   | 1  |    |       | 3  |
|   | 高齢者ケアシステム論                  | 1前        |     | 2  |    | 1        | 2   |    |    |       | 3  |
|   | 高齢者老年看護学演習Ⅰ(慢性期における老年看護)    | 1後        |     | 2  |    | 1        | 1   | 2  |    |       | 3  |
|   | 高度実践老年看護学演習Ⅱ(認知症老年看護)       | 1後        |     | 2  |    | 2        | 1   |    |    |       | 1  |
|   | 高度実践老年看護学実習Ⅰ(専門看護師の役割実践)    | 1後        |     | 1  |    | 2        | 2   | 1  |    |       |    |
|   | 高度実践老年看護学実習Ⅱ(認知症高齢者への看護実践)  | 2前        |     | 6  |    | 2        | 2   | 1  |    |       |    |
|   | 高度実践老年看護学実習Ⅲ(慢性期における老年看護実践) | 2前        |     | 3  |    | 2        | 2   | 1  |    |       |    |
| 小計(10科目)  | —                           | 0         | 24  | 0  | 16 | 15       | 8   | 0  | 0  | 16    |    |
| 研究科目  | 看護学特別研究(研究コース)              | 2通        | 10  |    |    | 11       | 11  |    |    |       |    |
|   | 特定課題研究(専門看護師コース)            | 2通        | 6   |    |    | 2        | 2   | 1  |    |       |    |
|   | 小計(2科目)                     | —         | 16  | 0  | 0  | 13       | 13  | 1  | 0  | 0     | 0  |
| 合計(40科目)  |                             | —         | 22  | 74 | 0  | 70       | 57  | 25 | 1  | 0     | 47 |
| 卒業要件及び履修方法  |                             |           |     |    |    |          |     |    |    |       |    |
| <p>【研究コース】<br/>           本研究科に2年以上在籍し、<br/>           ①共通科目から8単位(必修8単位)以上、<br/>           ②看護専門科目から1分野を選択し、特論2単位及び演習4単位、<br/>           ③共通科目及び選択しなかった看護専門科目の特論から6単位以上、<br/>           ④看護学特別研究10単位<br/>           の合計30単位以上を修得し、修士論文の提出及び論文審査に合格すること。</p> <p>【専門看護師コース】<br/>           本研究科に2年以上在籍し、<br/>           ①共通科目から16単位(必修6単位、専門看護師コース必修10単位)以上、<br/>           ②高度実践看護科目(老年看護)10科目24単位、<br/>           ③特定課題研究6単位、<br/>           合計46単位以上を修得し、特定課題研究論文の審査に合格すること。</p> |                             |           |     |    |    |          |     |    |    |       |    |

(記入例)必修科目24単位，専門基礎科目の選択科目から22単位，専門応用科目の選択科目から18単位以上を修得し，124単位以上修得すること。(履修科目の登録の上限：44単位(年間))

- (注)
- ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
  - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字**としてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
  - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
  - ・ 不要な年度(令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。  
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
  - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
  - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。その場合は、新カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に(新)又は(旧)と追記してください。  
(例：記載順) 【認可時又は届出時】→【令和6年度】(新)→【令和5年度】(新)→【令和4年度】→【令和3年度】→【令和6年度】(旧)→【令和

(1) ②授業科目表に関する変更内容

**【令和5年度】**

|      |
|------|
| 特になし |
|------|

**【令和6年度】**

|  |
|--|
| 「ケアコミュニケーション特論（共同、オムニバス科目）」科目の専任教員を1名減 |
|--|

- (注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
  - ・ 不要な年度（令和5年度開設であれば令和4年度以前）の表は適宜削除してください。
  - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

| 設置時の計画  |          |    |          | 変更状況           |                 |           |                 | 備考  |
|---------|----------|----|----------|----------------|-----------------|-----------|-----------------|---|
| 必修      | 選択       | 自由 | 計 (A)    | 必修             | 選択              | 自由        | 計               |   |
| 5<br>科目 | 35<br>科目 | 科目 | 40<br>科目 | 5<br>科目<br>[ ] | 35<br>科目<br>[ ] | 科目<br>[ ] | 40<br>科目<br>[ ] | (記入例：指定規則の場合)<br>【旧カリキュラム】<br>設置時の計画：必修○科目、選択○科目、自由○科目、<br>計 (A) ○科目<br>変更状況：必修○科目、選択○科目、自由○科目、<br>計○科目 |

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

| 番号 | 授業科目名 | 単位数 | 配当年次 | 一般・専門 | 必修・選択 | 未開講の理由、代替措置の有無 |
|----|-------|-----|------|-------|-------|----------------|
| 1  |       |     |      |       |       | 該当なし           |
| 2  |       |     |      |       |       |                |
| 3  |       |     |      |       |       |                |

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
  - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

| 番号 | 授業科目名 | 単位数 | 配当年次 | 一般・専門 | 必修・選択 | 廃止の理由、代替措置の有無 |
|----|-------|-----|------|-------|-------|---------------|
| 1  |       |     |      |       |       | 該当なし          |
| 2  |       |     |      |       |       |               |
| 3  |       |     |      |       |       |               |

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
  - ・ 該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

|      |
|------|
| 該当なし |
|------|

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{40} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。  
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

| 区 分                 |                    | 内 容   |  |                        |                                  | 備考  |            |                         |
|---------------------|--------------------|---|--|------------------------|----------------------------------|---|------------|-------------------------|
| (1) 校地等             | 区 分                | 専 用   | 共 用  | 共用する他の学校等の専用           | 計                                |   |            |                         |
|                     | 校舎敷地               | 117,551㎡  | — ㎡  | — ㎡                    | 117,551㎡                         |   |            |                         |
|                     | 運動場用地              | 44,450㎡   | — ㎡  | — ㎡                    | 44,450㎡                          |   |            |                         |
|                     | 小 計                | 162,001㎡  | — ㎡  | — ㎡                    | 162,001㎡                         |   |            |                         |
|                     | そ の 他              | 47,869㎡   | — ㎡  | — ㎡                    | 47,869㎡                          |   |            |                         |
|                     | 合 計                | 209,870㎡  | — ㎡  | — ㎡                    | 209,870㎡                         |   |            |                         |
| (2) 校舎              | 専 用                | 81,291㎡   | 共 用  | 共用する他の学校等の専用           | 計                                |   |            |                         |
|                     | (81,291㎡)          | ( ㎡)  | ( ㎡)   | (81,291㎡)              |                                  |   |            |                         |
| (3) 教室等             | 講義室                | 演習室   | 実験実習室  | 情報処理学習施設               | 語学学習施設                           | 大学全体                                      |            |                         |
|                     | 53室                | 85室   | 171室   | 4室<br>(補助職員 人)         | 2室<br>(補助職員 人)                   |   |            |                         |
| (4) 専任教員研究室         | 新設学部等の名称           |   |  | 室 数                    |                                  | 看護学部を含む                                   |            |                         |
|                     | 看護学研究科 看護学専攻(修士課程) |   |  | 64 室                   |                                  |   |            |                         |
| (5) 図書・設備           | 新設学部等の名称           | 図 書<br>〔うち外国書〕<br>冊   | 学術雑誌<br>〔うち外国書〕<br>種                             | 電子ジャーナル<br>〔うち外国書〕     | 視聴覚資料<br>点                       | 機械・器具<br>点                                | 標 本<br>点   | 図書、学術雑誌、視聴覚資料、機械器具の増(6) |
|                     | 看護学研究科<br>看護学専攻    | 20,809 [ 148 ]<br><del>(20,322 [110])</del><br>(20,572) [111] | 175 [ 20 ]<br><del>(142 [10])</del><br>(133[20]) | 43 [ 20 ]<br>(37 [10]) | 420<br><del>(365)</del><br>(372) | 12,869<br><del>(12,677)</del><br>(12,764) | 52<br>(52) |                         |
|                     | 計                  | 20,809 [ 148 ]<br>20,322 [110])<br>(20,572) [111]             | 175 [ 20 ]<br><del>(142 [10])</del><br>(133[20]) | 43 [ 20 ]<br>(37 [10]) | 420<br><del>(365)</del><br>(372) | 12,869<br><del>(12,677)</del><br>(12,764) | 52<br>(52) |                         |
|                     |                    |   |  |                        |                                  |   |            |                         |
| (6) 図書館             | 面 積                |   | 閲覧座席数  |                        | 収 納 可 能 冊 数                      |   | 大学全体       |                         |
|                     | 3,457㎡             |   | 427席   |                        | 18.9万冊                           |   |            |                         |
| (7) 体育館             | 面 積                |   | 体育館以外のスポーツ施設の概要                                  |                        |                                  |   |            |                         |
|                     | ㎡                  |   |  |                        |                                  |   |            |                         |
| (8) 経費の見積り及び維持方法の概要 | 経費の見積り             | 区 分   | 開設年度   | 完成年度                   | 区 分                              | 開設前年度                                     | 開設年度       | 完成年度                    |
|                     |                    | 教員1人当り研究費等  | 617千円  | 614千円                  | 図書購入費                            | 617千円                                     | 617千円      | 614千円                   |
|                     |                    | 共同研究費等  | 142,331千円  | 142,331千円              | 設備購入費                            | 617千円                                     | 617千円      | 614千円                   |
|                     | 学生1人当り納付金          | 第1年次  | 第2年次   | 第3年次                   | 第4年次                             | 第5年次                                      | 第6年次       |                         |
|                     |                    | 県内 724千円<br>県外 818千円  | 536千円  | —千円                    | —千円                              | —千円                                       | —千円        |                         |
|                     | 学生納付金以外の維持方法の概要    |   | 奨励寄付金、受託研究費、電源立地交付金等の外、不足する分については、富山県の運営費交付金を充てる |                        |                                  |   |            |                         |

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(6)」を「備考」に赤字で記入してください。  
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
  - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

| 大学 の 名 称   |      | 富山県立大学 |       |       |              |         |              |                   |      |                   |                  | 収容定員充足率0.7倍以下の学科数 | 収容定員充足率1.15倍以上の学科数 |
|------------|------|--------|-------|-------|--------------|---------|--------------|-------------------|------|-------------------|------------------|-------------------|--------------------|
| 既設学部等の名称   | 修業年限 | 入学定員   | 編入学定員 | 収容定員  | 学位又は称号       | 収容定員充足率 | 収容定員充足率(控除後) | 定員変更年度(AC期間の学科のみ) | 開設年度 | 所在地               | 備 考              |                   |                    |
|            | 年    | 人      | 年次人   | 人     |              | 倍       | 倍            | 年度                | 年度   |                   |                  |                   |                    |
| 工学部        | 4    | 235    | -     | 1,325 | -            | 1.06    | 1.03         | -                 | 令和6  | 富山県射水市黒河5179番地    |                  |                   |                    |
| 機械システム工学科  | 4    | 60     | -     | 240   | 学士(工学)       | 1.05    | 1.04         | -                 | 令和6  | 同上                |                  |                   |                    |
| 知能ロボット工学科  | 4    | -      | -     | 200   | 学士(工学)       | -       | -            | -                 | 平成23 | 同上                | 令和6年度入学生より学生募集停止 |                   |                    |
| 電気電子工学科    | 4    | 45     | -     | 180   | 学士(工学)       | 1.03    | 1.01         | -                 | 令和6  | 同上                |                  |                   |                    |
| 情報システム工学科  | 4    | -      | -     | 185   | 学士(工学)       | -       | -            | -                 | 令和6  | 同上                | 令和6年度入学生より学生募集停止 |                   |                    |
| 環境・社会基盤工学科 | 4    | 55     | -     | 220   | 学士(工学)       | 1.07    | 1.04         | -                 |      |                   |                  |                   |                    |
| 生物工学科      | 4    | 40     | -     | 160   | 学士(工学)       | 1.03    | 1.02         | -                 | 令和5  | 同上                |                  |                   |                    |
| 医薬品工学科     | 4    | 35     | -     | 140   | 学士(工学)       | 1.12    | 1.10         | -                 | 令和5  | 同上                |                  |                   |                    |
| 情報工学部      |      | 160    |       | 160   | -            | 1.06    | 1.06         | -                 | 令和6  | 富山県射水市黒河5179番地    |                  |                   |                    |
| データサイエンス学科 | 4    | 40     |       | 40    | 学士(データサイエンス) | 1.00    | 1.00         | -                 | 令和6  | 同上                |                  |                   |                    |
| 情報システム工学科  | 4    | 60     |       | 60    | 学士(工学)       | 1.13    | 1.13         | -                 | 令和6  | 同上                |                  |                   |                    |
| 知能ロボット工学科  | 4    | 60     |       | 60    | 学士(工学)       | 1.05    | 1.05         | -                 | 令和6  | 同上                |                  |                   |                    |
| 看護学部       | 4    | 120    | -     | 480   | -            | 1.00    | 0.99         | 令和4               | 令和元  | 富山県富山市西長江2丁目2番78号 |                  |                   |                    |
| 看護学科       | 4    | 120    | -     | 480   | 学士(看護学)      | 1.00    | 0.99         | 令和4               | 令和元  | 同上                |                  |                   |                    |
| 大学全体       |      | 515    | -     | 1,965 | -            | -       | -            | -                 | -    | -                 |                  |                   |                    |

| 大学 の 名 称   |        | 富山県立大学大学院 |       |      |         |         |              |                   |      |                   |                           | 収容定員充足率0.7倍以下の学科数 | 収容定員充足率1.15倍以上の学科数 | 4 |
|--|--------|-----------|-------|------|---------|---------|--------------|-------------------|------|-------------------|---------------------------|-------------------|--------------------|---|
| 既設学部等の名称   | 修業年限   | 入学定員      | 編入学定員 | 収容定員 | 学位又は称号  | 収容定員充足率 | 収容定員充足率(控除後) | 定員変更年度(AC期間の学科のみ) | 開設年度 | 所在地               | 備 考                       |                   |                    |   |
|  | 年      | 人         | 年次人   | 人    |         | 倍       | 倍            | 年度                | 年度   |                   |                           |                   |                    |   |
| 工学研究科 博士前期課程   | 2      | 108       | -     | 216  | -       | 1.27    | 1.25         | -                 | 平成6  | 富山県射水市黒河5179番地    |                           |                   |                    |   |
| 機械システム工学専攻   | 2      | 20        | -     | 40   | 修士(工学)  | 1.35    | 1.35         | -                 | 平成6  | 同上                |                           |                   |                    |   |
| 知能ロボット工学専攻   | 2      | 20        | -     | 40   | 修士(工学)  | 1.27    | 1.27         | -                 | 平成18 | 同上                |                           |                   |                    |   |
| 電子・情報工学専攻  | 2      | 27        | -     | 54   | 修士(工学)  | 1.18    | 1.18         | -                 | 平成18 | 同上                |                           |                   |                    |   |
| 環境・社会基盤工学専攻  | 2      | 15        | -     | 30   | 修士(工学)  | 1.03    | 1.03         | -                 | 平成25 | 同上                |                           |                   |                    |   |
| 生物・医薬品工学専攻   | 2      | 26        | -     | 52   | 修士(工学)  | 1.36    | 1.36         | -                 | 平成8  | 同上                |                           |                   |                    |   |
| 看護学研究科 修士課程  | 2      | 10        | -     | 20   | 修士(看護学) | 1.00    | 1.00         | -                 | 令和5  | 富山県富山市西長江2丁目2番78号 |                           |                   |                    |   |
| 看護学専攻  | 2      | 10        | -     | 20   | 修士(看護学) | 1.00    | 1.00         | -                 | 令和5  | 同上                |                           |                   |                    |   |
| 工学研究科 博士後期課程   | 3      | 10        | -     | 30   | -       | 0.83    | 0.80         | -                 | 平成8  | 富山県射水市黒河5179番地    | 令和3年度「総合工学専攻」の1専攻5分野に再編し。 |                   |                    |   |
| 総合工学専攻(機械システム工学、知能ロボット工学、電子・情報工学、環境・社会基盤工学、生物・医薬品工学) | 3      | 10        | -     | 30   | 博士(工学)  | 0.83    | 0.80         | -                 | 令和3  | 同上                |                           |                   |                    |   |
| 大学院全体  | 2<br>3 | 118<br>10 | -     | 128  | -       | -       | -            | -                 | -    | -                 |                           |                   |                    |   |

(注) ・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)。  
 なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。  
 ・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「-」とした上で、「非表示」設定としてください。  
 ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。  
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。  
 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。  
 ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。  
 ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。  
 開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。  
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和7年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。  
 ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。  
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。  
 ・「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。  
 また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。  
 ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。  
 ・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

5 教員組織の状況

<看護学研究科 看護学専攻>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【令和5年度】

【令和6年度】

| 専任・兼任・兼任の別 | 職名           | 氏名<br>(年齢)<br><就任(予定)年月><br>保有学位等     | 担当授業科目名   | 専任・兼任・兼任の別 | 職名           | 氏名<br>(年齢)<br><就任(予定)年月><br>保有学位等     | 担当授業科目名   | 専任・兼任・兼任の別 | 職名           | 氏名<br>(年齢)<br><就任(予定)年月><br>保有学位等     | 担当授業科目名   |
|------------|--------------|---------------------------------------|---|------------|--------------|---------------------------------------|---|------------|--------------|---------------------------------------|---|
| 専          | 教授<br>(研究科長) | 佐伯和子<br>(68)<br><令和5年4月><br>博士(保健学)   | 看護管理特論※<br>コンサルテーション特論※<br>地域在宅看護学特論※<br>地域在宅看護学特論演習Ⅰ<br>看護学特別研究  | 専          | 教授<br>(研究科長) | 佐伯和子<br>(68)<br><令和5年4月><br>博士(保健学)   | 看護管理特論※<br>コンサルテーション特論※<br>地域在宅看護学特論※<br>地域在宅看護学特論演習Ⅰ<br>看護学特別研究  | 専          | 教授<br>(研究科長) | 佐伯和子<br>(69)<br><令和5年4月><br>博士(保健学)   | 看護管理特論※<br>コンサルテーション特論※<br>地域在宅看護学特論※<br>地域在宅看護学特論演習Ⅰ<br>看護学特別研究  |
| 専          | 教授           | 岡本 恵里<br>(60)<br><令和5年4月><br>博士(教育学)  | 看護倫理特論※<br>看護教育特論※<br>ケアコミュニケーション特論※<br>基礎看護学特論※<br>基礎看護学特論演習Ⅰ<br>基礎看護学特論演習Ⅱ<br>看護学特別研究   | 専          | 教授           | 岡本 恵里<br>(60)<br><令和5年4月><br>博士(教育学)  | 看護倫理特論※<br>看護教育特論※<br>ケアコミュニケーション特論※<br>基礎看護学特論※<br>基礎看護学特論演習Ⅰ<br>基礎看護学特論演習Ⅱ<br>看護学特別研究   | 専          | 教授           | 岡本 恵里<br>(61)<br><令和5年4月><br>博士(教育学)  | 看護倫理特論※<br>看護教育特論※<br>ケアコミュニケーション特論※<br>基礎看護学特論※<br>基礎看護学特論演習Ⅰ<br>基礎看護学特論演習Ⅱ<br>看護学特別研究   |
| 専          | 教授           | 栗子 嘉美<br>(61)<br><令和5年4月><br>博士(医学)   | フィジカルアセスメント特論※<br>成人看護学特論※<br>成人看護学特論演習Ⅰ※<br>看護学特別研究  | 専          | 教授           | 栗子 嘉美<br>(61)<br><令和5年4月><br>博士(医学)   | フィジカルアセスメント特論※<br>成人看護学特論※<br>成人看護学特論演習Ⅰ※<br>看護学特別研究  | 専          | 教授           | 栗子 嘉美<br>(62)<br><令和5年4月><br>博士(医学)   | フィジカルアセスメント特論※<br>成人看護学特論※<br>成人看護学特論演習Ⅰ※<br>看護学特別研究  |
| 専          | 教授           | 片田 裕子<br>(60)<br><令和5年4月><br>博士(保健学)  | 成人看護学特論※<br>成人看護学特論演習Ⅰ※<br>看護学特別研究  | 専          | 教授           | 片田 裕子<br>(60)<br><令和5年4月><br>博士(保健学)  | 成人看護学特論※<br>成人看護学特論演習Ⅰ※<br>看護学特別研究  | 専          | 教授           | 片田 裕子<br>(61)<br><令和5年4月><br>博士(保健学)  | 成人看護学特論※<br>成人看護学特論演習Ⅰ※<br>看護学特別研究  |
| 専          | 教授           | 張 平平<br>(59)<br><令和5年4月><br>博士(看護学)   | 国際看護特論※<br>老年精神看護学特論※<br>老年精神看護学特論演習Ⅰ※<br>老年看護学原論※<br>老年医学特論※<br>高齢者ケアシステム論※<br>高度実践老年看護学実習Ⅰ<br>高度実践老年看護学実習Ⅱ<br>高度実践老年看護学実習Ⅲ<br>看護学特別研究<br>特定課題研究 | 専          | 教授           | 張 平平<br>(59)<br><令和5年4月><br>博士(看護学)   | 国際看護特論※<br>老年精神看護学特論※<br>老年精神看護学特論演習Ⅰ※<br>老年看護学原論※<br>老年医学特論※<br>高齢者ケアシステム論※<br>高度実践老年看護学実習Ⅰ<br>高度実践老年看護学実習Ⅱ<br>高度実践老年看護学実習Ⅲ<br>看護学特別研究<br>特定課題研究 | 専          | 教授           | 張 平平<br>(60)<br><令和5年4月><br>博士(看護学)   | 国際看護特論※<br>老年精神看護学特論※<br>老年精神看護学特論演習Ⅰ※<br>老年看護学原論※<br>老年医学特論※<br>高齢者ケアシステム論※<br>高度実践老年看護学実習Ⅰ<br>高度実践老年看護学実習Ⅱ<br>高度実践老年看護学実習Ⅲ<br>看護学特別研究<br>特定課題研究 |
| 専          | 教授           | 松井 弘美<br>(62)<br><令和5年4月><br>博士(保健学)  | 看護学研究特論※<br>母子看護学特論※<br>母子看護学特論演習Ⅰ※<br>母子看護学特論演習Ⅱ<br>看護学特別研究  | 専          | 教授           | 松井 弘美<br>(62)<br><令和5年4月><br>博士(保健学)  | 看護学研究特論※<br>母子看護学特論※<br>母子看護学特論演習Ⅰ※<br>母子看護学特論演習Ⅱ<br>看護学特別研究  | 専          | 教授           | 松井 弘美<br>(63)<br><令和5年4月><br>博士(保健学)  | 看護学研究特論※<br>母子看護学特論※<br>母子看護学特論演習Ⅰ※<br>母子看護学特論演習Ⅱ<br>看護学特別研究  |
| 専          | 教授           | 田中 いずみ<br>(63)<br><令和5年4月><br>修士(看護学) | 看護教育特論※<br>看護学特別研究  | 専          | 教授           | 田中 いずみ<br>(63)<br><令和5年4月><br>修士(看護学) | 看護教育特論※<br>看護学特別研究  | 専          | 教授           | 田中 いずみ<br>(64)<br><令和5年4月><br>修士(看護学) | 看護教育特論※<br>看護学特別研究  |
| 専          | 教授           | 越田 美穂子<br>(60)<br><令和5年4月><br>博士(保健学) | 看護統計特論※<br>富山県の医療保健福祉特論※<br>地域在宅看護学特論※<br>地域在宅看護学特論演習Ⅰ<br>看護学特別研究   | 専          | 教授           | 越田 美穂子<br>(60)<br><令和5年4月><br>博士(保健学) | 看護統計特論※<br>富山県の医療保健福祉特論※<br>地域在宅看護学特論※<br>地域在宅看護学特論演習Ⅰ<br>看護学特別研究   | 専          | 教授           | 越田 美穂子<br>(61)<br><令和5年4月><br>博士(保健学) | 看護統計特論※<br>富山県の医療保健福祉特論※<br>地域在宅看護学特論※<br>地域在宅看護学特論演習Ⅰ<br>看護学特別研究   |
| 専          | 教授           | 城戸口 親史<br>(57)<br><令和5年4月><br>博士(医学)  | 看護管理特論※<br>病態生理学特論※<br>成人看護学特論※<br>成人看護学特論演習Ⅰ※<br>成人看護学特論演習Ⅱ<br>看護学特別研究   | 専          | 教授           | 城戸口 親史<br>(57)<br><令和5年4月><br>博士(医学)  | 看護管理特論※<br>病態生理学特論※<br>成人看護学特論※<br>成人看護学特論演習Ⅰ※<br>成人看護学特論演習Ⅱ<br>看護学特別研究   | 専          | 教授           | 城戸口 親史<br>(58)<br><令和5年4月><br>博士(医学)  | 看護管理特論※<br>病態生理学特論※<br>成人看護学特論※<br>成人看護学特論演習Ⅰ※<br>成人看護学特論演習Ⅱ<br>看護学特別研究   |

| 専任・兼任・兼任の別 | 職名  | 氏名<br>(年齢)<br><就任(予定)年月><br>保有学位等  | 専任・兼任・兼任の別 | 職名  | 氏名<br>(年齢)<br><就任(予定)年月><br>保有学位等  | 専任・兼任・兼任の別 | 職名  | 氏名<br>(年齢)<br><就任(予定)年月><br>保有学位等  |
|------------|-----|--|------------|-----|--|------------|-----|--|
|            |     | 担当授業科目名  |            |     | 担当授業科目名  |            |     | 担当授業科目名  |
| 専          | 教授  | 比嘉 尚江<br>(59)<br><令和5年4月><br>博士(人間文化学)   | 専          | 教授  | 比嘉 尚江<br>(59)<br><令和5年4月><br>博士(人間文化学)   | 専          | 教授  | 比嘉 尚江<br>(60)<br><令和5年4月><br>博士(人間文化学)   |
|            |     | 看護学研究特論※<br>成人看護学特論※<br>成人看護学特論演習Ⅰ※<br>成人看護学特論演習Ⅱ<br>高齢者高度看護実践論※<br>看護学特別研究  |            |     | 看護学研究特論※<br>成人看護学特論※<br>成人看護学特論演習Ⅰ※<br>成人看護学特論演習Ⅱ<br>高齢者高度看護実践論※<br>看護学特別研究  |            |     | 看護学研究特論※<br>成人看護学特論※<br>成人看護学特論演習Ⅰ※<br>成人看護学特論演習Ⅱ<br>高齢者高度看護実践論※<br>看護学特別研究  |
| 専          | 教授  | 木谷 尚美<br>(54)<br><令和5年4月><br>博士(看護学)   | 専          | 教授  | 木谷 尚美<br>(54)<br><令和5年4月><br>博士(看護学)   | 専          | 教授  | 木谷 尚美<br>(55)<br><令和5年4月><br>博士(看護学)   |
|            |     | 老年精神看護学特論※<br>老年精神看護学特論演習Ⅰ※<br>老年精神看護学特論演習Ⅱ<br>老年看護学原論※<br>高齢者アセスメント論※<br>高齢者高度看護実践論※<br>高度実践老年看護学演習Ⅰ※<br>高度実践老年看護学演習Ⅱ※<br>高度実践老年看護学実習Ⅰ<br>高度実践老年看護学実習Ⅱ<br>高度実践老年看護学実習Ⅲ<br>看護学特別研究<br>特定課題研究 |            |     | 老年精神看護学特論※<br>老年精神看護学特論演習Ⅰ※<br>老年精神看護学特論演習Ⅱ<br>老年看護学原論※<br>高齢者アセスメント論※<br>高齢者高度看護実践論※<br>高度実践老年看護学演習Ⅰ※<br>高度実践老年看護学演習Ⅱ※<br>高度実践老年看護学実習Ⅰ<br>高度実践老年看護学実習Ⅱ<br>高度実践老年看護学実習Ⅲ<br>看護学特別研究<br>特定課題研究 |            |     | 老年精神看護学特論※<br>老年精神看護学特論演習Ⅰ※<br>老年精神看護学特論演習Ⅱ<br>老年看護学原論※<br>高齢者アセスメント論※<br>高齢者高度看護実践論※<br>高度実践老年看護学演習Ⅰ※<br>高度実践老年看護学演習Ⅱ※<br>高度実践老年看護学実習Ⅰ<br>高度実践老年看護学実習Ⅱ<br>高度実践老年看護学実習Ⅲ<br>看護学特別研究<br>特定課題研究 |
| 専          | 准教授 | 三善 郁代<br>(47)<br><令和5年4月><br>修士(看護学)   | 専          | 准教授 | 三善 郁代<br>(47)<br><令和5年4月><br>修士(看護学)   | 専          | 准教授 | 三善 郁代<br>(48)<br><令和5年4月><br>修士(看護学)   |
|            |     | 臨床薬理学特論※<br>フィジカルアセスメント特論※<br>基礎看護学特論※<br>基礎看護学特論演習Ⅰ<br>看護学特別研究  |            |     | 臨床薬理学特論※<br>フィジカルアセスメント特論※<br>基礎看護学特論※<br>基礎看護学特論演習Ⅰ<br>看護学特別研究  |            |     | 臨床薬理学特論※<br>フィジカルアセスメント特論※<br>基礎看護学特論※<br>基礎看護学特論演習Ⅰ<br>看護学特別研究  |
| 専          | 准教授 | 林 静子<br>(49)<br><令和5年4月><br>博士(看護学)  | 専          | 准教授 | 林 静子<br>(49)<br><令和5年4月><br>博士(看護学)  | 専          | 准教授 | 林 静子<br>(50)<br><令和5年4月><br>博士(看護学)  |
|            |     | 看護ケア科学特論※<br>基礎看護学特論※<br>基礎看護学特論演習Ⅰ<br>基礎看護学特論演習Ⅱ<br>看護学特別研究   |            |     | 看護ケア科学特論※<br>基礎看護学特論※<br>基礎看護学特論演習Ⅰ<br>基礎看護学特論演習Ⅱ<br>看護学特別研究   |            |     | 看護ケア科学特論※<br>基礎看護学特論※<br>基礎看護学特論演習Ⅰ<br>基礎看護学特論演習Ⅱ<br>看護学特別研究   |
| 専          | 准教授 | 河相 てる美<br>(59)<br><令和5年4月><br>博士(看護学)  | 専          | 准教授 | 河相 てる美<br>(59)<br><令和5年4月><br>博士(看護学)  | 専          | 准教授 | 河相 てる美<br>(60)<br><令和5年4月><br>博士(看護学)  |
|            |     | 成人看護学特論<br>成人看護学特論演習Ⅰ<br>成人看護学特論演習Ⅱ<br>看護学特別研究   |            |     | 成人看護学特論<br>成人看護学特論演習Ⅰ<br>成人看護学特論演習Ⅱ<br>看護学特別研究   |            |     | 成人看護学特論<br>成人看護学特論演習Ⅰ<br>成人看護学特論演習Ⅱ<br>看護学特別研究   |
| 専          | 准教授 | 河野 由美子<br>(63)<br><令和5年4月><br>博士(学術)   | 専          | 准教授 | 河野 由美子<br>(63)<br><令和5年4月><br>博士(学術)   | 専          | 准教授 | 河野 由美子<br>(64)<br><令和5年4月><br>博士(学術)   |
|            |     | 地域在宅看護学特論※<br>地域在宅看護学特論演習Ⅰ<br>地域在宅看護学特論演習Ⅱ<br>高齢者高度看護実践論※<br>高齢者ケアシステム論※<br>看護学特別研究  |            |     | 地域在宅看護学特論※<br>地域在宅看護学特論演習Ⅰ<br>地域在宅看護学特論演習Ⅱ<br>高齢者高度看護実践論※<br>高齢者ケアシステム論※<br>看護学特別研究  |            |     | 地域在宅看護学特論※<br>地域在宅看護学特論演習Ⅰ<br>地域在宅看護学特論演習Ⅱ<br>高齢者高度看護実践論※<br>高齢者ケアシステム論※<br>看護学特別研究  |
| 専          | 准教授 | 浦井 珠恵<br>(36)<br><令和5年4月><br>博士(保健学)   | 専          | 准教授 | 浦井 珠恵<br>(36)<br><令和5年4月><br>博士(保健学)   | 専          | 准教授 | 浦井 珠恵<br>(37)<br><令和5年4月><br>博士(保健学)   |
|            |     | 看護学研究特論※<br>基礎看護学特論演習Ⅰ<br>高齢者アセスメント論※<br>看護学特別研究   |            |     | 看護学研究特論※<br>基礎看護学特論演習Ⅰ<br>高齢者アセスメント論※<br>看護学特別研究   |            |     | 看護学研究特論※<br>基礎看護学特論演習Ⅰ<br>高齢者アセスメント論※<br>看護学特別研究   |
| 専          | 准教授 | 青柳 寿弥<br>(45)<br><令和5年4月><br>博士(看護学)   | 専          | 准教授 | 青柳 寿弥<br>(45)<br><令和5年4月><br>博士(看護学)   | 専          | 准教授 | 青柳 寿弥<br>(46)<br><令和5年4月><br>博士(看護学)   |
|            |     | ケアコミュニケーション特論※<br>老年精神看護学特論演習Ⅰ※<br>老年看護学原論※<br>高齢者高度看護実践論※<br>高度実践老年看護学演習Ⅱ※<br>高度実践老年看護学実習Ⅰ<br>高度実践老年看護学実習Ⅱ<br>高度実践老年看護学実習Ⅲ<br>看護学特別研究<br>特定課題研究   |            |     | ケアコミュニケーション特論※<br>老年精神看護学特論演習Ⅰ※<br>老年看護学原論※<br>高齢者高度看護実践論※<br>高度実践老年看護学演習Ⅱ※<br>高度実践老年看護学実習Ⅰ<br>高度実践老年看護学実習Ⅱ<br>高度実践老年看護学実習Ⅲ<br>看護学特別研究<br>特定課題研究   |            |     | ケアコミュニケーション特論※<br>老年精神看護学特論演習Ⅰ※<br>老年看護学原論※<br>高齢者高度看護実践論※<br>高度実践老年看護学演習Ⅱ※<br>高度実践老年看護学実習Ⅰ<br>高度実践老年看護学実習Ⅱ<br>高度実践老年看護学実習Ⅲ<br>看護学特別研究<br>特定課題研究   |
| 専          | 准教授 | 伊藤 裕佳<br>(44)<br><令和5年4月><br>博士(看護学)   | 専          | 准教授 | 伊藤 裕佳<br>(44)<br><令和5年4月><br>博士(看護学)   | 専          | 准教授 | 伊藤 裕佳<br>(45)<br><令和5年4月><br>博士(看護学)   |
|            |     | 老年精神看護学特論演習Ⅰ※<br>老年看護学原論※<br>高齢者ケアシステム論※<br>高度実践老年看護学演習Ⅰ※<br>高度実践老年看護学実習Ⅰ<br>高度実践老年看護学実習Ⅱ<br>高度実践老年看護学実習Ⅲ<br>看護学特別研究<br>特定課題研究   |            |     | 老年精神看護学特論演習Ⅰ※<br>老年看護学原論※<br>高齢者ケアシステム論※<br>高度実践老年看護学演習Ⅰ※<br>高度実践老年看護学実習Ⅰ<br>高度実践老年看護学実習Ⅱ<br>高度実践老年看護学実習Ⅲ<br>看護学特別研究<br>特定課題研究   |            |     | 老年精神看護学特論演習Ⅰ※<br>老年看護学原論※<br>高齢者ケアシステム論※<br>高度実践老年看護学演習Ⅰ※<br>高度実践老年看護学実習Ⅰ<br>高度実践老年看護学実習Ⅱ<br>高度実践老年看護学実習Ⅲ<br>看護学特別研究<br>特定課題研究   |

| 専任・兼任・兼任の別 | 職名  | 氏名<br>(年齢)<br><就任(予定)年月><br>保有学位等        | 担当授業科目名   |
|------------|-----|--|---|
| 専          | 准教授 | 寺井 孝弘<br>(41)<br><令和5年4月><br>博士(看護学)     | 看護統計特論※<br>母子看護学特論※<br>母子看護学特論演習Ⅰ※<br>看護学特別研究   |
| 専          | 准教授 | 小林 絵里子<br>(47)<br><令和5年4月><br>博士(保健学)    | 看護ケア科学特論※<br>母子看護学特論演習Ⅰ※<br>看護学特別研究   |
| 専          | 准教授 | 村田 美代子<br>(61)<br><令和5年4月><br>修士(医科学)    | 母子看護学特論※<br>母子看護学特論演習Ⅰ※<br>母子看護学特論演習Ⅱ<br>看護学特別研究  |
| 専          | 准教授 | 清水 暢子<br>(55)<br><令和5年4月><br>博士(医学)      | 国際看護特論※<br>地域在宅看護学特論演習Ⅰ<br>看護学特別研究  |
| 専          | 講師  | 福森 絢子<br>(53)<br><令和5年4月><br>修士(臨床心理学)   | ケアコミュニケーション特論   |
| 専          | 講師  | 山本 麻理奈<br>(34)<br><令和5年4月><br>修士(看護学)    | 基礎看護学特論演習Ⅱ<br>高度実践老年看護学演習Ⅰ※   |
| 専          | 講師  | 鷲塚 寛子<br>(44)<br><令和5年4月><br>修士(看護学)     | 基礎看護学特論演習Ⅱ  |
| 専          | 講師  | 寺内 英真<br>(50)<br><令和5年4月><br>修士(看護学)     | 成人看護学特論演習Ⅱ  |
| 専          | 講師  | 川口 寛介<br>(34)<br><令和5年4月><br>博士(看護学)     | フィジカルアセスメント特論※<br>老年精神看護学特論演習Ⅱ<br>高齢者アセスメント論※<br>老年医学特論※<br>高齢者高度看護実践論※<br>高度実践老年看護学演習Ⅰ<br>高度実践老年看護学実習Ⅰ<br>高度実践老年看護学実習Ⅱ<br>高度実践老年看護学実習Ⅲ<br>特定課題研究 |
| 専          | 講師  | 高木 園美<br>(56)<br><令和5年4月><br>修士(看護学)     | 富山県の医療保健福祉特論※<br>母子看護学特論演習Ⅱ   |
| 専          | 講師  | 若瀬 淳子<br>(58)<br><令和5年4月><br>修士(人間学)     | 母子看護学特論演習Ⅱ  |
| 専          | 講師  | 山崎(小林) 智可<br>(54)<br><令和5年4月><br>修士(看護学) | 地域在宅看護学特論演習Ⅱ  |
| 専          | 講師  | 北島 友香<br>(37)<br><令和5年4月><br>博士(保健学)     | 母子看護学特論演習Ⅱ  |
| 専          | 講師  | 遠田 大輔<br>(40)<br><令和5年4月><br>博士(保健学)     | 老年精神看護学特論演習Ⅱ  |
| 専          | 講師  | 濱野 初恵<br>(49)<br><令和5年4月><br>博士(保健学)     | 成人看護学特論演習Ⅱ  |
| 専          | 講師  | 中堀 伸枝<br>(46)<br><令和5年4月><br>博士(医学)      | 富山県の医療保健福祉特論※<br>地域在宅看護学特論演習Ⅱ   |

| 専任・兼任・兼任の別 | 職名  | 氏名<br>(年齢)<br><就任(予定)年月><br>保有学位等        | 担当授業科目名   |
|------------|-----|--|---|
| 専          | 准教授 | 寺井 孝弘<br>(41)<br><令和5年4月><br>博士(看護学)     | 看護統計特論※<br>母子看護学特論※<br>母子看護学特論演習Ⅰ※<br>看護学特別研究   |
| 専          | 准教授 | 小林 絵里子<br>(47)<br><令和5年4月><br>博士(保健学)    | 看護ケア科学特論※<br>母子看護学特論演習Ⅰ※<br>看護学特別研究   |
| 専          | 准教授 | 村田 美代子<br>(61)<br><令和5年4月><br>修士(医科学)    | 母子看護学特論※<br>母子看護学特論演習Ⅰ※<br>母子看護学特論演習Ⅱ<br>看護学特別研究  |
| 専          | 准教授 | 清水 暢子<br>(55)<br><令和5年4月><br>博士(医学)      | 国際看護特論※<br>地域在宅看護学特論演習Ⅰ<br>看護学特別研究  |
| 専          | 講師  | 福森 絢子<br>(53)<br><令和5年4月><br>修士(臨床心理学)   | ケアコミュニケーション特論   |
| 専          | 講師  | 山本 麻理奈<br>(34)<br><令和5年4月><br>修士(看護学)    | 基礎看護学特論演習Ⅱ<br>高度実践老年看護学演習Ⅰ※   |
| 専          | 講師  | 鷲塚 寛子<br>(44)<br><令和5年4月><br>修士(看護学)     | 基礎看護学特論演習Ⅱ  |
| 専          | 講師  | 寺内 英真<br>(50)<br><令和5年4月><br>修士(看護学)     | 成人看護学特論演習Ⅱ  |
| 専          | 講師  | 川口 寛介<br>(34)<br><令和5年4月><br>博士(看護学)     | フィジカルアセスメント特論※<br>老年精神看護学特論演習Ⅱ<br>高齢者アセスメント論※<br>老年医学特論※<br>高齢者高度看護実践論※<br>高度実践老年看護学演習Ⅰ<br>高度実践老年看護学実習Ⅰ<br>高度実践老年看護学実習Ⅱ<br>高度実践老年看護学実習Ⅲ<br>特定課題研究 |
| 専          | 講師  | 高木 園美<br>(56)<br><令和5年4月><br>修士(看護学)     | 富山県の医療保健福祉特論※<br>母子看護学特論演習Ⅱ   |
| 専          | 講師  | 若瀬 淳子<br>(58)<br><令和5年4月><br>修士(人間学)     | 母子看護学特論演習Ⅱ  |
| 専          | 講師  | 山崎(小林) 智可<br>(54)<br><令和5年4月><br>修士(看護学) | 地域在宅看護学特論演習Ⅱ  |
| 専          | 講師  | 北島 友香<br>(37)<br><令和5年4月><br>博士(保健学)     | 母子看護学特論演習Ⅱ  |
| 専          | 講師  | 遠田 大輔<br>(40)<br><令和5年4月><br>博士(保健学)     | 老年精神看護学特論演習Ⅱ  |
| 専          | 講師  | 濱野 初恵<br>(49)<br><令和5年4月><br>博士(保健学)     | 成人看護学特論演習Ⅱ  |
| 専          | 講師  | 中堀 伸枝<br>(46)<br><令和5年4月><br>博士(医学)      | 富山県の医療保健福祉特論※<br>地域在宅看護学特論演習Ⅱ   |

| 専任・兼任・兼任の別 | 職名  | 氏名<br>(年齢)<br><就任(予定)年月><br>保有学位等        | 担当授業科目名   |
|------------|-----|--|---|
| 専          | 准教授 | 寺井 孝弘<br>(42)<br><令和5年4月><br>博士(看護学)     | 看護統計特論※<br>母子看護学特論※<br>母子看護学特論演習Ⅰ※<br>看護学特別研究   |
| 専          | 准教授 | 小林 絵里子<br>(48)<br><令和5年4月><br>博士(保健学)    | 看護ケア科学特論※<br>母子看護学特論演習Ⅰ※<br>看護学特別研究   |
| 専          | 准教授 | 村田 美代子<br>(62)<br><令和5年4月><br>修士(医科学)    | 母子看護学特論※<br>母子看護学特論演習Ⅰ※<br>母子看護学特論演習Ⅱ<br>看護学特別研究  |
| 専          | 准教授 | 清水 暢子<br>(56)<br><令和5年4月><br>博士(医学)      | 国際看護特論※<br>地域在宅看護学特論演習Ⅰ<br>看護学特別研究  |
| 専          | 講師  | 山本 麻理奈<br>(35)<br><令和5年4月><br>修士(看護学)    | 基礎看護学特論演習Ⅱ<br>高度実践老年看護学演習Ⅰ※   |
| 専          | 講師  | 鷲塚 寛子<br>(45)<br><令和5年4月><br>修士(看護学)     | 基礎看護学特論演習Ⅱ  |
| 専          | 講師  | 寺内 英真<br>(51)<br><令和5年4月><br>修士(看護学)     | 成人看護学特論演習Ⅱ  |
| 専          | 講師  | 川口 寛介<br>(35)<br><令和5年4月><br>博士(看護学)     | フィジカルアセスメント特論※<br>老年精神看護学特論演習Ⅱ<br>高齢者アセスメント論※<br>老年医学特論※<br>高齢者高度看護実践論※<br>高度実践老年看護学演習Ⅰ<br>高度実践老年看護学実習Ⅰ<br>高度実践老年看護学実習Ⅱ<br>高度実践老年看護学実習Ⅲ<br>特定課題研究 |
| 専          | 講師  | 高木 園美<br>(57)<br><令和5年4月><br>修士(看護学)     | 富山県の医療保健福祉特論※<br>母子看護学特論演習Ⅱ   |
| 専          | 講師  | 若瀬 淳子<br>(59)<br><令和5年4月><br>修士(人間学)     | 母子看護学特論演習Ⅱ  |
| 専          | 講師  | 山崎(小林) 智可<br>(55)<br><令和5年4月><br>修士(看護学) | 地域在宅看護学特論演習Ⅱ  |
| 専          | 講師  | 北島 友香<br>(38)<br><令和5年4月><br>博士(保健学)     | 母子看護学特論演習Ⅱ  |
| 専          | 講師  | 遠田 大輔<br>(41)<br><令和5年4月><br>博士(保健学)     | 老年精神看護学特論演習Ⅱ  |
| 専          | 講師  | 濱野 初恵<br>(50)<br><令和5年4月><br>博士(保健学)     | 成人看護学特論演習Ⅱ  |
| 専          | 講師  | 中堀 伸枝<br>(51)<br><令和5年4月><br>博士(医学)      | 富山県の医療保健福祉特論※<br>地域在宅看護学特論演習Ⅱ   |

| 専任・兼任・兼任の別 | 職名  | 氏名<br>(年齢)<br><就任(予定)年月><br>保有学位等      | 担当授業科目名                 |
|------------|-----|--|-------------------------|
| 専          | 講師  | 大西 竜太<br>(34)<br><令和5年4月><br>修士(看護学)   | 看護統計特論※<br>地域在宅看護学特論演習Ⅱ |
| 専          | 助教  | 北林 正子<br>(62)<br><令和5年4月><br>修士(看護学)   | 地域在宅看護学特論演習Ⅱ            |
| 兼任         | 教授  | 鳥山 朋二<br>(61)<br><令和5年4月><br>博士(工学)    | 看護ケア科学特論※               |
| 兼任         | 講師  | 塚越 拓哉<br>(51)<br><令和5年4月><br>博士(情報理学)  | 看護ケア科学特論※               |
| 兼任         | 教授  | 唐山 英明<br>(52)<br><令和5年4月><br>博士(理学)    | ケアコミュニケーション特論※          |
| 兼任         | 准教授 | 竹澤 みどり<br>(47)<br><令和5年4月><br>博士(心理学)  | コンサルテーション特論※            |
| 兼任         | 講師  | 早川 正祐<br>(44)<br><令和5年4月><br>博士(文学)    | 看護倫理特論※                 |
| 兼任         | 講師  | 山下 暢子<br>(51)<br><令和5年4月><br>修士(看護学)   | 看護教育特論※                 |
| 兼任         | 講師  | 野村 陽子<br>(72)<br><令和5年4月><br>博士(政治学)   | 看護管理特論※                 |
| 兼任         | 講師  | 高長 雅美<br>(57)<br><令和5年4月><br>専門学校卒     | 看護管理特論※                 |
| 兼任         | 講師  | 松井 弘美<br>(56)<br><令和5年4月><br>修士(看護学)   | コンサルテーション特論※            |
| 兼任         | 講師  | 高山 望<br>(50)<br><令和5年4月><br>博士(看護学)    | コンサルテーション特論※            |
| 兼任         | 講師  | 利田 智恵<br>(57)<br><令和5年4月><br>専門学校卒     | コンサルテーション特論※            |
| 兼任         | 講師  | 河原 宣子<br>(58)<br><令和5年4月><br>修士(生物資源学) | 国際看護特論※                 |
| 兼任         | 講師  | 工藤 里香<br>(52)<br><令和5年4月><br>修士(看護学)   | 国際看護特論※                 |
| 兼任         | 講師  | 本田 美和子<br>(57)<br><令和5年4月><br>学士(医学)   | ケアコミュニケーション特論※          |
| 兼任         | 講師  | 守田 万寿夫<br>(59)<br><令和5年4月><br>学士(医学)   | 富山県の医療保健福祉特論※           |
| 兼任         | 講師  | 河村 瑞穂<br>(58)<br><令和5年4月><br>専門学校卒     | 富山県の医療保健福祉特論※           |
| 兼任         | 講師  | 服部 裕一<br>(70)<br><令和5年4月><br>博士(医学)    | 臨床薬理学特論※                |
|            |     |  |                         |
|            |     |  |                         |

| 専任・兼任・兼任の別 | 職名  | 氏名<br>(年齢)<br><就任(予定)年月><br>保有学位等      | 担当授業科目名                 |
|------------|-----|--|-------------------------|
| 専          | 講師  | 大西 竜太<br>(34)<br><令和5年4月><br>修士(看護学)   | 看護統計特論※<br>地域在宅看護学特論演習Ⅱ |
| 専          | 助教  | 北林 正子<br>(62)<br><令和5年4月><br>修士(看護学)   | 地域在宅看護学特論演習Ⅱ            |
| 兼任         | 教授  | 鳥山 朋二<br>(61)<br><令和5年4月><br>博士(工学)    | 看護ケア科学特論※               |
| 兼任         | 講師  | 塚越 拓哉<br>(51)<br><令和5年4月><br>博士(情報理学)  | 看護ケア科学特論※               |
| 兼任         | 教授  | 唐山 英明<br>(52)<br><令和5年4月><br>博士(理学)    | ケアコミュニケーション特論※          |
| 兼任         | 准教授 | 竹澤 みどり<br>(47)<br><令和5年4月><br>博士(心理学)  | コンサルテーション特論※            |
| 兼任         | 講師  | 早川 正祐<br>(44)<br><令和5年4月><br>博士(文学)    | 看護倫理特論※                 |
| 兼任         | 講師  | 山下 暢子<br>(51)<br><令和5年4月><br>修士(看護学)   | 看護教育特論※                 |
| 兼任         | 講師  | 野村 陽子<br>(72)<br><令和5年4月><br>博士(政治学)   | 看護管理特論※                 |
| 兼任         | 講師  | 高長 雅美<br>(57)<br><令和5年4月><br>専門学校卒     | 看護管理特論※                 |
| 兼任         | 講師  | 松井 弘美<br>(56)<br><令和5年4月><br>修士(看護学)   | コンサルテーション特論※            |
| 兼任         | 講師  | 高山 望<br>(50)<br><令和5年4月><br>博士(看護学)    | コンサルテーション特論※            |
| 兼任         | 講師  | 利田 智恵<br>(57)<br><令和5年4月><br>専門学校卒     | コンサルテーション特論※            |
| 兼任         | 講師  | 河原 宣子<br>(58)<br><令和5年4月><br>修士(生物資源学) | 国際看護特論※                 |
| 兼任         | 講師  | 工藤 里香<br>(52)<br><令和5年4月><br>修士(看護学)   | 国際看護特論※                 |
| 兼任         | 講師  | 本田 美和子<br>(57)<br><令和5年4月><br>学士(医学)   | ケアコミュニケーション特論※          |
| 兼任         | 講師  | 守田 万寿夫<br>(59)<br><令和5年4月><br>学士(医学)   | 富山県の医療保健福祉特論※           |
| 兼任         | 講師  | 河村 瑞穂<br>(58)<br><令和5年4月><br>専門学校卒     | 富山県の医療保健福祉特論※           |
| 兼任         | 講師  | 服部 裕一<br>(70)<br><令和5年4月><br>博士(医学)    | 臨床薬理学特論※                |
| 兼任         | 講師  | 横尾 宏毅<br>(58)<br><令和5年4月><br>博士(医学)    | 臨床薬理学特論※                |
| 兼任         | 講師  | 山崎 弘美<br>(70)<br><令和5年4月><br>医学博士      | 臨床薬理学特論※                |

| 専任・兼任・兼任の別 | 職名  | 氏名<br>(年齢)<br><就任(予定)年月><br>保有学位等     | 担当授業科目名                 |
|------------|-----|---------------------------------------|-------------------------|
| 専          | 講師  | 大西 竜太<br>(35)<br><令和5年4月><br>修士(看護学)  | 看護統計特論※<br>地域在宅看護学特論演習Ⅱ |
| 専          | 助教  | 北林 正子<br>(63)<br><令和5年4月><br>修士(看護学)  | 地域在宅看護学特論演習Ⅱ            |
| 兼任         | 教授  | 鳥山 朋二<br>(62)<br><令和5年4月><br>博士(工学)   | 看護ケア科学特論※               |
| 兼任         | 講師  | 塚越 拓哉<br>(52)<br><令和5年4月><br>博士(情報理学) | 看護ケア科学特論※               |
| 兼任         | 教授  | 唐山 英明<br>(53)<br><令和5年4月><br>博士(理学)   | ケアコミュニケーション特論※          |
| 兼任         | 准教授 | 竹澤 みどり<br>(48)<br><令和5年4月><br>博士(心理学) | コンサルテーション特論※            |
| 兼任         | 講師  | 早川 正祐<br>(45)<br><令和5年4月><br>博士(文学)   | 看護倫理特論※                 |
| 兼任         | 講師  | 山下 暢子<br>(52)<br><令和5年4月><br>修士(看護学)  | 看護教育特論※                 |
| 兼任         | 講師  | 野村 陽子<br>(73)<br><令和5年4月><br>博士(政治学)  | 看護管理特論※                 |
| 兼任         | 講師  | 高長 雅美<br>(58)<br><令和5年4月><br>専門学校卒    | 看護管理特論※                 |
| 兼任         | 講師  | 松井 弘美<br>(57)<br><令和5年4月><br>修士(看護学)  | コンサルテーション特論※            |
| 兼任         | 講師  | 高山 望<br>(51)<br><令和5年4月><br>博士(看護学)   | コンサルテーション特論※            |
| 兼任         | 講師  | 利田 智恵<br>(58)<br><令和5年4月><br>専門学校卒    | コンサルテーション特論※            |
| 兼任         | 講師  | 黒滝 安紀子<br>(46)<br><令和6年4月><br>博士(看護学) | 国際看護特論※                 |
| 兼任         | 講師  | 工藤 里香<br>(53)<br><令和5年4月><br>修士(看護学)  | 国際看護特論※                 |
| 兼任         | 講師  | 本田 美和子<br>(58)<br><令和5年4月><br>学士(医学)  | ケアコミュニケーション特論※          |
| 兼任         | 講師  | 守田 万寿夫<br>(60)<br><令和5年4月><br>学士(医学)  | 富山県の医療保健福祉特論※           |
| 兼任         | 講師  | 河村 瑞穂<br>(59)<br><令和5年4月><br>専門学校卒    | 富山県の医療保健福祉特論※           |
| 兼任         | 講師  | 服部 裕一<br>(71)<br><令和5年4月><br>博士(医学)   | 臨床薬理学特論※                |
| 兼任         | 講師  | 横尾 宏毅<br>(59)<br><令和5年4月><br>博士(医学)   | 臨床薬理学特論※                |
| 兼任         | 講師  | 山崎 弘美<br>(71)<br><令和5年4月><br>医学博士     | 臨床薬理学特論※                |

| 専任・兼任・兼任の別 | 職名 | 氏名<br>(年齢)<br><就任(予定)年月><br>保有学位等     | 担当授業科目名                    |
|------------|----|---------------------------------------|----------------------------|
| 兼任         | 講師 | 山城 清二<br>(66)<br><令和5年4月><br>医学博士     | フィジカルアセスメント特論※             |
| 兼任         | 講師 | 臼田 和生<br>(64)<br><令和5年4月><br>博士(医学)   | 病態生理学特論※                   |
| 兼任         | 講師 | 丸山 美知郎<br>(53)<br><令和5年4月><br>博士(医学)  | 病態生理学特論※                   |
|            |    |                                       |                            |
| 兼任         | 講師 | 谷口 浩和<br>(53)<br><令和5年4月><br>博士(医学)   | 病態生理学特論※                   |
| 兼任         | 講師 | 酒井 明人<br>(56)<br><令和5年4月><br>博士(医学)   | 病態生理学特論※                   |
| 兼任         | 講師 | 赤堀 弘<br>(50)<br><令和5年4月><br>博士(医学)    | 病態生理学特論※                   |
| 兼任         | 講師 | 中村 琢哉<br>(61)<br><令和5年4月><br>博士(医学)   | 病態生理学特論※                   |
| 兼任         | 講師 | 近藤 恭夫<br>(54)<br><令和5年4月><br>博士(医学)   | 病態生理学特論※                   |
| 兼任         | 講師 | 瀬戸 親<br>(59)<br><令和5年4月><br>博士(医学)    | 病態生理学特論※                   |
| 兼任         | 講師 | 南 里恵<br>(51)<br><令和5年4月><br>博士(医学)    | 病態生理学特論※                   |
| 兼任         | 講師 | 野原 茂<br>(51)<br><令和5年4月><br>博士(医学)    | 病態生理学特論※                   |
| 兼任         | 講師 | 藤永 洋<br>(58)<br><令和5年4月><br>博士(医学)    | 病態生理学特論※                   |
| 兼任         | 講師 | 越田 嘉尚<br>(49)<br><令和5年4月><br>博士(医学)   | 病態生理学特論※                   |
| 兼任         | 講師 | 松倉 早知子<br>(55)<br><令和5年4月><br>修士(看護学) | 病態生理学特論※                   |
| 兼任         | 講師 | 東川 俊寛<br>(44)<br><令和5年4月><br>医学博士     | 老年医学特論※                    |
| 兼任         | 講師 | 富岳 亮<br>(65)<br><令和5年4月><br>医学博士      | 老年医学特論※                    |
| 兼任         | 講師 | 井上 博<br>(73)<br><令和5年4月><br>医学博士      | 老年医学特論※                    |
| 兼任         | 講師 | 保田 賢司<br>(50)<br><令和5年4月><br>医学博士     | 老年医学特論※                    |
| 兼任         | 講師 | 三浦 太郎<br>(41)<br><令和5年4月><br>学士(医学)   | 老年医学特論※                    |
| 兼任         | 講師 | 木林 勉<br>(58)<br><令和5年4月><br>保健学博士     | 老年医学特論※<br>高度実践老年看護学演習 I ※ |

| 専任・兼任・兼任の別 | 職名 | 氏名<br>(年齢)<br><就任(予定)年月><br>保有学位等     | 担当授業科目名                    |
|------------|----|---------------------------------------|----------------------------|
| 兼任         | 講師 | 山城 清二<br>(66)<br><令和5年4月><br>医学博士     | フィジカルアセスメント特論※             |
| 兼任         | 講師 | 臼田 和生<br>(64)<br><令和5年4月><br>博士(医学)   | 病態生理学特論※                   |
| 兼任         | 講師 | 丸山 美知郎<br>(53)<br><令和5年4月><br>博士(医学)  | 病態生理学特論※                   |
| 兼任         | 講師 | 音羽 勤一<br>(51)<br><令和5年4月><br>博士(医学)   | 病態生理学特論※                   |
| 兼任         | 講師 | 谷口 浩和<br>(53)<br><令和5年4月><br>博士(医学)   | 病態生理学特論※                   |
| 兼任         | 講師 | 酒井 明人<br>(56)<br><令和5年4月><br>博士(医学)   | 病態生理学特論※                   |
| 兼任         | 講師 | 吉澤 都<br>(54)<br><令和5年4月><br>博士(医学)    | 病態生理学特論※                   |
| 兼任         | 講師 | 丸善 兆延<br>(54)<br><令和5年4月><br>博士(医学)   | 病態生理学特論※                   |
| 兼任         | 講師 | 近藤 恭夫<br>(54)<br><令和5年4月><br>博士(医学)   | 病態生理学特論※                   |
| 兼任         | 講師 | 瀬戸 親<br>(59)<br><令和5年4月><br>博士(医学)    | 病態生理学特論※                   |
| 兼任         | 講師 | 南 里恵<br>(51)<br><令和5年4月><br>博士(医学)    | 病態生理学特論※                   |
| 兼任         | 講師 | 野原 茂<br>(51)<br><令和5年4月><br>博士(医学)    | 病態生理学特論※                   |
| 兼任         | 講師 | 藤永 洋<br>(58)<br><令和5年4月><br>博士(医学)    | 病態生理学特論※                   |
| 兼任         | 講師 | 越田 嘉尚<br>(49)<br><令和5年4月><br>博士(医学)   | 病態生理学特論※                   |
| 兼任         | 講師 | 松倉 早知子<br>(55)<br><令和5年4月><br>修士(看護学) | 病態生理学特論※                   |
| 兼任         | 講師 | 東川 俊寛<br>(44)<br><令和5年4月><br>医学博士     | 老年医学特論※                    |
| 兼任         | 講師 | 富岳 亮<br>(65)<br><令和5年4月><br>医学博士      | 老年医学特論※                    |
| 兼任         | 講師 | 井上 博<br>(73)<br><令和5年4月><br>医学博士      | 老年医学特論※                    |
| 兼任         | 講師 | 保田 賢司<br>(50)<br><令和5年4月><br>医学博士     | 老年医学特論※                    |
| 兼任         | 講師 | 三浦 太郎<br>(41)<br><令和5年4月><br>学士(医学)   | 老年医学特論※                    |
| 兼任         | 講師 | 木林 勉<br>(58)<br><令和5年4月><br>保健学博士     | 老年医学特論※<br>高度実践老年看護学演習 I ※ |

| 専任・兼任・兼任の別 | 職名 | 氏名<br>(年齢)<br><就任(予定)年月><br>保有学位等     | 担当授業科目名                    |
|------------|----|---------------------------------------|----------------------------|
| 兼任         | 講師 | 山城 清二<br>(67)<br><令和5年4月><br>医学博士     | フィジカルアセスメント特論※             |
| 兼任         | 講師 | 臼田 和生<br>(65)<br><令和5年4月><br>博士(医学)   | 病態生理学特論※                   |
| 兼任         | 講師 | 丸山 美知郎<br>(54)<br><令和5年4月><br>博士(医学)  | 病態生理学特論※                   |
| 兼任         | 講師 | 音羽 勤一<br>(52)<br><令和5年4月><br>博士(医学)   | 病態生理学特論※                   |
| 兼任         | 講師 | 谷口 浩和<br>(54)<br><令和5年4月><br>博士(医学)   | 病態生理学特論※                   |
| 兼任         | 講師 | 酒井 明人<br>(57)<br><令和5年4月><br>博士(医学)   | 病態生理学特論※                   |
| 兼任         | 講師 | 吉澤 都<br>(55)<br><令和5年4月><br>博士(医学)    | 病態生理学特論※                   |
| 兼任         | 講師 | 丸善 兆延<br>(55)<br><令和5年4月><br>博士(医学)   | 病態生理学特論※                   |
| 兼任         | 講師 | 近藤 恭夫<br>(55)<br><令和5年4月><br>博士(医学)   | 病態生理学特論※                   |
| 兼任         | 講師 | 瀬戸 親<br>(60)<br><令和5年4月><br>博士(医学)    | 病態生理学特論※                   |
| 兼任         | 講師 | 南 里恵<br>(52)<br><令和5年4月><br>博士(医学)    | 病態生理学特論※                   |
| 兼任         | 講師 | 野原 茂<br>(52)<br><令和5年4月><br>博士(医学)    | 病態生理学特論※                   |
| 兼任         | 講師 | 藤永 洋<br>(59)<br><令和5年4月><br>博士(医学)    | 病態生理学特論※                   |
| 兼任         | 講師 | 越田 嘉尚<br>(50)<br><令和5年4月><br>博士(医学)   | 病態生理学特論※                   |
| 兼任         | 講師 | 松倉 早知子<br>(56)<br><令和5年4月><br>修士(看護学) | 病態生理学特論※                   |
| 兼任         | 講師 | 大浦 誠<br>(39)<br><令和6年4月><br>学士(医学)    | 老年医学特論※                    |
| 兼任         | 講師 | 富岳 亮<br>(66)<br><令和5年4月><br>医学博士      | 老年医学特論※                    |
| 兼任         | 講師 | 井上 博<br>(74)<br><令和5年4月><br>医学博士      | 老年医学特論※                    |
| 兼任         | 講師 | 保田 賢司<br>(51)<br><令和5年4月><br>医学博士     | 老年医学特論※                    |
| 兼任         | 講師 | 三浦 太郎<br>(42)<br><令和5年4月><br>学士(医学)   | 老年医学特論※                    |
| 兼任         | 講師 | 木林 勉<br>(59)<br><令和5年4月><br>保健学博士     | 老年医学特論※<br>高度実践老年看護学演習 I ※ |
| 兼任         | 講師 | 橘口 史篤<br>(43)<br><令和6年4月><br>学士(医学)   | 老年医学特論※                    |

| 専任・兼任・兼任の別 | 職名 | 氏名<br>(年齢)<br><就任(予定)年月><br>保有学位等     | 専任・兼任・兼任の別 | 職名 | 氏名<br>(年齢)<br><就任(予定)年月><br>保有学位等     | 専任・兼任・兼任の別 | 職名 | 氏名<br>(年齢)<br><就任(予定)年月><br>保有学位等     |
|------------|----|---------------------------------------|------------|----|---------------------------------------|------------|----|---------------------------------------|
|            |    | 担当授業科目名                               |            |    | 担当授業科目名                               |            |    | 担当授業科目名                               |
| 兼任         | 講師 | 長瀬 佐知子<br>(48)<br><令和5年4月><br>修士(看護学) | 兼任         | 講師 | 長瀬 佐知子<br>(48)<br><令和5年4月><br>修士(看護学) | 兼任         | 講師 | 長瀬 佐知子<br>(49)<br><令和5年4月><br>修士(看護学) |
|            |    | 高齢者高度看護実践論※<br>高度実践老年看護学演習Ⅱ※          |            |    | 高齢者高度看護実践論※<br>高度実践老年看護学演習Ⅱ※          |            |    | 高齢者高度看護実践論※<br>高度実践老年看護学演習Ⅱ※          |
| 兼任         | 講師 | 中村 美穂<br>(52)<br><令和5年4月><br>修士(看護学)  | 兼任         | 講師 | 中村 美穂<br>(52)<br><令和5年4月><br>修士(看護学)  | 兼任         | 講師 | 中村 美穂<br>(53)<br><令和5年4月><br>修士(看護学)  |
|            |    | 高齢者高度看護実践論※                           |            |    | 高齢者高度看護実践論※                           |            |    | 高齢者高度看護実践論※                           |
| 兼任         | 講師 | 高田 和加子<br>(57)<br><令和5年4月><br>専門学校卒   | 兼任         | 講師 | 高田 和加子<br>(57)<br><令和5年4月><br>専門学校卒   | 兼任         | 講師 | 高田 和加子<br>(58)<br><令和5年4月><br>専門学校卒   |
|            |    | 高齢者高度看護実践論※                           |            |    | 高齢者高度看護実践論※                           |            |    | 高齢者高度看護実践論※                           |
| 兼任         | 講師 | 桑田 美代子<br>(63)<br>修士(看護学)             | 兼任         | 講師 | 桑田 美代子<br>(63)<br>修士(看護学)             | 兼任         | 講師 | 桑田 美代子<br>(64)<br>修士(看護学)             |
|            |    | 高齢者ケアシステム論※                           |            |    | 高齢者ケアシステム論※                           |            |    | 高齢者ケアシステム論※                           |
| 兼任         | 講師 | 惣万 佳代子<br>(72)<br><令和5年4月><br>専門学校卒   | 兼任         | 講師 | 惣万 佳代子<br>(72)<br><令和5年4月><br>専門学校卒   | 兼任         | 講師 | 惣万 佳代子<br>(73)<br><令和5年4月><br>専門学校卒   |
|            |    | 高齢者ケアシステム論※                           |            |    | 高齢者ケアシステム論※                           |            |    | 高齢者ケアシステム論※                           |
| 兼任         | 講師 | 森山 治<br>(62)<br><令和5年4月><br>修士(文学)    | 兼任         | 講師 | 森山 治<br>(62)<br><令和5年4月><br>修士(文学)    | 兼任         | 講師 | 森山 治<br>(63)<br><令和5年4月><br>修士(文学)    |
|            |    | 高齢者ケアシステム論※                           |            |    | 高齢者ケアシステム論※                           |            |    | 高齢者ケアシステム論※                           |
| 兼任         | 講師 | 榊原 千秋<br>(61)<br><令和5年4月><br>博士(保健学)  | 兼任         | 講師 | 榊原 千秋<br>(61)<br><令和5年4月><br>博士(保健学)  | 兼任         | 講師 | 榊原 千秋<br>(62)<br><令和5年4月><br>博士(保健学)  |
|            |    | 高度実践老年看護学演習Ⅰ※                         |            |    | 高度実践老年看護学演習Ⅰ※                         |            |    | 高度実践老年看護学演習Ⅰ※                         |
| 兼任         | 講師 | 石原 昌代<br>(55)<br><令和5年4月><br>修士(看護学)  | 兼任         | 講師 | 石原 昌代<br>(55)<br><令和5年4月><br>修士(看護学)  | 兼任         | 講師 | 石原 昌代<br>(56)<br><令和5年4月><br>修士(看護学)  |
|            |    | 高度実践老年看護学演習Ⅰ※                         |            |    | 高度実践老年看護学演習Ⅰ※                         |            |    | 高度実践老年看護学演習Ⅰ※                         |

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
- その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**
- ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
  - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(実)、兼任、兼任の順に記入してください。
  - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
  - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「担当授業科目名」の上段に変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目名を記入するとともに、下段に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目名を記入してください。

(1) -②担当教員表に関する変更内容

【令和5年度】

特になし

【令和6年度】

令和5年度「ケアコミュニケーション特論（共同、オムニバス科目）」科目の一部回（2回／15回）については、福森講師、岡本教授（令和4年8月AC教員審査済）、青柳准教授（令和4年8月AC教員審査済）の3人で担っていたが、令和5年9月末に福森講師が退職し、令和6年度においては、岡本教授、青柳准教授の2人が共同で担っている。

- (注)
- ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
  - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**原則としてAC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ AC教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。  
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
  - ・ 不要な年度（令和5年度開設であれば令和4年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

|                                  |                                 |                                    |
|----------------------------------|---------------------------------|------------------------------------|
| 完成年度時における<br>設置基準上の必要研究<br>指導教員数 | うち、完成年度時に<br>おける設置基準上の<br>必要教授数 | 完成年度時における<br>設置基準上の必要研究<br>指導補助教員数 |
| 6                                | 6                               | 6                                  |
| 名                                | 名                               | 名                                  |

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学院】

| 設置時の計画              |       |               |                |          |            | 現在（報告時）の状況          |               |                |       |          |            |
|---------------------|-------|---------------|----------------|----------|------------|---------------------|---------------|----------------|-------|----------|------------|
| 教授                  | 准教授   | 講師            | 助教             | 計<br>(A) | 助手<br>(A') | 教授                  | 准教授           | 講師             | 助教    | 計<br>(B) | 助手<br>(B') |
| 11                  | 11    | 13            | 1              | 36       | 0          | 11                  | 11            | 12             | 1     | 35       | 0          |
| (11)                | (11)  | (13)          | (1)            | (36)     | (0)        |                     |               |                |       |          |            |
| 研究<br>指導<br>教員<br>数 |       | 研究指導補助<br>教員数 | 講義のみ担当<br>の教員数 |          |            | 研究<br>指導<br>教員<br>数 | 研究指導補助<br>教員数 | 講義のみ担当<br>の教員数 |       |          |            |
| 18                  | 11    | 9             | 9              |          |            | 18                  | 11            | 9              | 8     |          |            |
| (18)                | (11)  | (9)           | (9)            |          |            |                     |               |                |       |          |            |
| 現在（報告時）の完成年度時の状況    |       |               |                |          |            | 現在（報告時）の完成年度時の計画    |               |                |       |          |            |
| 教授                  | 准教授   | 講師            | 助教             | 計<br>(C) | 助手<br>(C') | 教授                  | 准教授           | 講師             | 助教    | 計<br>(D) | 助手<br>(D') |
| 11                  | 11    | 12            | 1              | 35       | 0          | 11                  | 11            | 12             | 1     | 35       | 0          |
| [ 0 ]               | [ 0 ] | [ 0 ]         | [ 0 ]          | [ 0 ]    | [ 0 ]      | [ 0 ]               | [ 0 ]         | [ 0 ]          | [ 0 ] | [ 0 ]    | [ 0 ]      |
| 研究<br>指導<br>教員<br>数 |       | 研究指導補助<br>教員数 | 講義のみ担当<br>の教員数 |          |            | 研究<br>指導<br>教員<br>数 | 研究指導補助<br>教員数 | 講義のみ担当<br>の教員数 |       |          |            |
| 18                  | 11    | 9             | 9              |          |            | 18                  | 11            | 9              | 9     |          |            |
| [0]                 | [0]   | [ 0 ]         | [ 0 ]          |          |            | [0]                 | [0]           | [ 0 ]          | [ 0 ] |          |            |

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、  
 教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、  
 「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、  
 [ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、  
 [ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

| 年齢構成                |   |  |
|---------------------|---|--|
| 定年規定の定める<br>定年年齢（歳） | 報告時（上記<br>(B)）の教員の<br>うち、定年を延長<br>して採用している<br>教員数 | 完成年度時（上記<br>(C)）の教員<br>うち、定年を延長し<br>て採用する教員数 |
| 講師以上65<br>助教以下60    | 2   | 2  |
| 歳                   | 名   | 名  |

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、  
 及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている  
 教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、  
 「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{35}{36} = \boxed{97.22} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{2}{35} = \boxed{5.71} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3)-① 専任教員の就任辞退(未就任)の理由及び後任補充状況

| 番号         | 職位 | 専任教員氏名              | 時期 | 必修・選択・自由の別   | 担当予定科目 | 後任補充状況   | 就任辞退(未就任)の理由 |          |    |
|------------|----|---------------------|----|--------------|--------|----------|--------------|----------|----|
|            |    |                     |    |              |        |          |              |          |    |
|            |    |                     |    |              |        |          |              |          |    |
|            |    |                     |    |              |        |          |              |          |    |
|            |    |                     |    |              |        |          |              |          |    |
| 合計(D)      |    |                     |    | 後任補充状況の集計(E) |        |          |              |          |    |
| 就任を辞退した教員数 |    | 担当科目数の合計(a)+(b)+(c) |    | ①の合計数(a)     |        | ②の合計数(b) |              | ③の合計数(c) |    |
| 人          | 必修 | 0                   | 科目 | 必修           | 科目     | 必修       | 科目           | 必修       | 科目 |
|            | 選択 | 0                   | 科目 | 選択           | 科目     | 選択       | 科目           | 選択       | 科目 |
|            | 自由 | 0                   | 科目 | 自由           | 科目     | 自由       | 科目           | 自由       | 科目 |
|            | 計  | 0                   | 科目 | 計            | 0      | 計        | 0            | 計        | 0  |

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。  
 ・ 「就任辞退(未就任)」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「(3)-②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退(未就任)の理由」に就任辞退の理由等及び( )書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」  
 ・ 兼任担当教員が担当する(している)場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3)-② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

| 番号      | 職位 | 専任教員氏名              | 時期   | 必修・選択・自由の別   | 担当予定科目        | 後任補充状況   | 辞任等の理由                  |          |    |
|---------|----|---------------------|------|--------------|---------------|----------|-------------------------|----------|----|
| 1       | 講師 | 福森 絢子               | R5.9 | 選択           | ケアコミュニケーション特論 | ①        | R6.9.30付け一身上の都合により辞任(5) |          |    |
|         |    |                     |      |              |               |          |                         |          |    |
|         |    |                     |      |              |               |          |                         |          |    |
|         |    |                     |      |              |               |          |                         |          |    |
| 合計(F)   |    |                     |      | 後任補充状況の集計(G) |               |          |                         |          |    |
| 辞任した教員数 |    | 担当科目数の合計(a)+(b)+(c) |      | ①の合計数(a)     |               | ②の合計数(b) |                         | ③の合計数(c) |    |
| 1       | 必修 | 0                   | 科目   | 必修           | 科目            | 必修       | 科目                      | 必修       | 科目 |
|         | 選択 | 1                   | 科目   | 選択           | 1             | 選択       | 科目                      | 選択       | 科目 |
|         | 自由 | 0                   | 科目   | 自由           | 科目            | 自由       | 科目                      | 自由       | 科目 |
|         | 計  | 1                   | 科目   | 計            | 1             | 計        | 0                       | 計        | 0  |

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について、記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び( )書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」  
 ・ 兼任担当教員が担当する(している)場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3)-③ 上記(3)-①・(3)-②の合計

| 合計(D)+(F) |    |                     |    | 後任補充状況の集計(E)+(G) |   |          |   |          |   |
|-----------|----|---------------------|----|------------------|---|----------|---|----------|---|
| 辞任等した教員数  |    | 担当科目数の合計(a)+(b)+(c) |    | ①の合計数(a)         |   | ②の合計数(b) |   | ③の合計数(c) |   |
| 1         | 必修 | 0                   | 科目 | 必修               | 0 | 必修       | 0 | 必修       | 0 |
|           | 選択 | 1                   | 科目 | 選択               | 1 | 選択       | 0 | 選択       | 0 |
|           | 自由 | 0                   | 科目 | 自由               | 0 | 自由       | 0 | 自由       | 0 |
|           | 計  | 1                   | 科目 | 計                | 1 | 計        | 0 | 計        | 0 |

(3)-④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-③合計(D)+(F)}{(2)-②設置時の計画(A)} = \frac{1}{36} = 2.77\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3)-⑤ 令和5年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

1人

- (注) ・ (3)-①、(3)-②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。  
 ・ 令和6年度開設の学科等の場合、(D)+(F)と同数を記載してください。

(3)-⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

| 番号      | 職位 | 専任教員氏名              | 必修・選択・自由の別 | 担当予定科目    | 後任補充状況 | 辞任等の理由   |    |          |    |
|---------|----|---------------------|------------|-----------|--------|----------|----|----------|----|
|         |    |                     |            |           |        |          |    |          |    |
|         |    |                     |            |           |        |          |    |          |    |
|         |    |                     |            |           |        |          |    |          |    |
|         |    |                     |            |           |        |          |    |          |    |
| 合計      |    |                     |            | 後任補充状況の集計 |        |          |    |          |    |
| 辞任した教員数 |    | 担当科目数の合計(a)+(b)+(c) |            | ①の合計数(a)  |        | ②の合計数(b) |    | ③の合計数(c) |    |
| 人       | 必修 | 0                   | 科目         | 必修        | 科目     | 必修       | 科目 | 必修       | 科目 |
|         | 選択 | 0                   | 科目         | 選択        | 科目     | 選択       | 科目 | 選択       | 科目 |
|         | 自由 | 0                   | 科目         | 自由        | 科目     | 自由       | 科目 | 自由       | 科目 |
|         | 計  | 0                   | 科目         | 計         | 0      | 計        | 0  | 計        | 0  |

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について、記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び( )書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」  
 ・ 兼任担当教員が担当する(している)場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

令和5年9月末に退職した専任教員の福森講師は、令和5年度「ケアコミュニケーション特論(共同、オムニバス科目)」科目の下記(※)一部回(2回/15回)を、福森講師、岡本恵里氏(教授：令和4年8月教員審査済)、青柳寿弥氏(准教授：令和4年8月教員審査済)の3人で担っていたが、令和6年度においては、福森講師を除いた、岡本恵里氏、青柳寿弥氏の2人が共同で担うことが可能と判断しており、学生の履修等に支障はない。  
 また、学生に対しては、オリエンテーションやホームページ上の教務システムにおいて周知を語っている。  
 ※福森講師が担当していた「ケアコミュニケーション特論(共同、オムニバス科目)」内容(抜粋)  
 第12回 コミュニケーション演習⑤：包括的技術(青柳・岡本・福森)  
 エマニチードの見る・話す・触れる技術を同時に複数組み合わせる行うマルチモダリティ・ケアを模擬患者に実施し、その録画映像の分析を通してケア技術の自己課題を見出す(体位変換、着替え、おむつ交換)  
 第15回 プレゼンテーション(岡本・青柳・福森)  
 「コミュニケーションケア技術が人間関係に与える影響」をテーマとしたプレゼンテーション、ディスカッションを通して、コミュニケーションの視点からケアを職業とする者の役割と責任について考察する。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

| 区分            | 附帯事項等   | 履行状況  | 今後の実施計画 |
|---------------|---|---|---------|
| 認可時<br>(令和4年) | <p>「審査意見への対応を記載した書類（6月）」の審査意見1への対応において、「設置の趣旨等を記載した書類（資料）」の資料7-1で育成する人材像と3つのポリシーの関係が説明されているが、ディプロマ・ポリシー6に掲げる「看護職として生涯にわたって自己研鑽し続け、プロフェッショナルとしての高い意識と倫理観をもって行動できる力を身につけている」に対応するカリキュラム・ポリシーは全項目であると説明されている。全てのカリキュラム・ポリシーに関係するのであれば、「設置の趣旨等を記載した書類（資料）」の資料7-2（カリキュラムポリシーと授業科目の関係）で示されているとおり、全ての授業科目に関係することになるが、シラバスを見ると、例えば、「看護統計特論」は看護における統計の理論と実践を学ぶことを目的としているが、ディプロマ・ポリシー6に掲げられた「プロフェッショナルとしての高い意識と倫理観をもって行動できる力」を身につける内容となっていないとは見受けられず、ディプロマ・ポリシー6に掲げられた各能力が、いずれのカリキュラム・ポリシーに基づく授業科目によって涵養（かんよう）することが想定され、学生に対し修得することが求められているのが必ずしも明確ではない。このことから、ディプロマ・ポリシーを達成するための授業科目を確実に履修できるよう、ディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシー、各授業科目との対応関係について、より明確に整理して分かりやすく示すなど、学生等が理解できるよう適切に改めつつ、周知徹底を図ること。</p> | <p>本学では、受講する授業科目の選択・登録、試験・単位の修得など修了要件等をまとめた「履修の手引」という冊子を作成し、入学生に配付し説明している。この手引に、改訂した「育成する人材像と3つのポリシーの関係」、「カリキュラム・マップ」及び「カリキュラムポリシーおよびディプロマポリシーと授業科目の関係」を掲載し、ディプロマ・ポリシーを達成するための授業科目を確実に履修できるよう、ディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシー、各授業科目との対応関係について、より明確に整理して分かりやすく示した。ディプロマ・ポリシーを達成するための授業科目を確実に履修できるよう、ディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシー、各授業科目との対応関係について、より明確に整理して分かりやすく示すため、表「カリキュラムポリシーおよびディプロマポリシーと授業科目の関係」、「育成する人材像と3つのポリシーの関係」及び「カリキュラム・マップ（イメージ）」を作成するとともに、これらを、受講する授業科目の選択・登録、試験・単位の修得など修了要件等をまとめた冊子「履修の手引き」に掲載し、入学生に配付・説明を行っている。（5）</p> <p>表「カリキュラムポリシーおよびディプロマポリシーと授業科目の関係」は、修得する授業科目とカリキュラム・ポリシー及びディプロマ・ポリシーの対応関係を表にしたものであり、各々のポリシーに該当する授業科目を◎、関連性が強い授業科目を○で示し、ディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシー、各授業科目との対応関係について明確に整理した。【別添：資料1-1「カリキュラムポリシーおよびディプロマポリシーと授業科目の関係」】</p> <p>また、「育成する人材像と3つのポリシーの関係」では、アドミッション・ポリシーとカリキュラム・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーとディプロマ・ポリシーとの関係を矢印で示し、3つのポリシーの関係の明確化を図った。</p> <p>さらに、カリキュラム・ポリシーと各授業科目及び各授業科目とディプロマ・ポリシーとの対応関係を学生により分かりやすくイメージしてもらうため、「カリキュラム・マップ（イメージ）」を作成した。</p> <p>しかしながら、ご指摘のとおり、「育成する人物像と3つのポリシーの関係」と「カリキュラム・マップ（イメージ）」等に齟齬が生じていたことから、「育成する人物像と3つのポリシーの関係」及び「カリキュラム・マップ（イメージ）」を以下のとおり修正した。【別添：資料1-2「育成する人物像と3つのポリシーの関係」（修正版）、資料1-3「カリキュラム・マップ（イメージ）」（修正版）】</p> <p>＜育成する人物像と3つのポリシーの関係＞<br/>○表「カリキュラムポリシーおよびディプロマポリシーと授業科目の関係」において、◎が一つでもあるものについて、カリキュラム・ポリシーとディプロマ・ポリシーを矢印で繋げ、関連することが分かるよう修正した。</p> <p>＜カリキュラム・マップ（イメージ）＞<br/>○各カリキュラム・ポリシーに対応する授業科目を「共通科目」、「看護専門科目」、「高度実践看護科目」及び「研究科目」の科目区分ごとに整理し直し、各授業科目がどのカリキュラム・ポリシー及びディプロマ・ポリシーに関連するかを色と矢印で示し、対応関係を明確にした。なお、「関連する」とは、表「カリキュラムポリシーおよびディプロマポリシーと授業科目の関係」において、◎が一つでもあるものをいう。（これにより、ディプロマ・ポリシー6は全てのカリキュラム・ポリシーに関連することが分かるようになっていく。）</p> <p>○カリキュラム・ポリシー1に関連する授業科目「高齢者アセスメント論」及び「老年医学特論」は、表「カリキュラムポリシーおよびディプロマポリシーと授業科目の関係」では「高度実践看護科目」とされているが、「共通科目」として整理されていたことから、「高度実践看護科目」に修正した。</p> <p>「育成する人物像と3つのポリシーの関係（修正版）」及び「カリキュラム・マップ（イメージ）（修正版）」は、現在在学中の学生に対し改めて周知するとともに、次年度からは、「育成する人物像と3つのポリシーの関係（修正版）」、「カリキュラムポリシーおよびディプロマポリシーと授業科目の関係」及び「カリキュラム・マップ（イメージ）（修正版）」を「履修の手引き」に掲載し、学生に周知を図っていく。（6）</p> | 履行済     |
| 認可時<br>(令和4年) | <p>「審査意見への対応を記載した書類（6月）」の審査意見1への対応において、「設置の趣旨等を記載した書類（資料）」の資料7-1及び資料7-2によって、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー及び授業科目の関係が示されたが、ディプロマ・ポリシー4に掲げる「国際的な保健医療に関心をもち、柔軟な思考と広い視野を身につけている」及びこれに対応するカリキュラム・ポリシー4に掲げる「国際的な保健医療に関心をもち、併せて地域や社会の保健医療福祉の課題解決に向けて主体的に取り組む能力を培う」に関連する科目であり、専門看護師コースの必修科目でもある「老年看護学原論」及び「高齢者ケアシステム論」では、シラバスの内容を確認する限り、国際的な保健医療を取り扱うと見受けられる講義内容は計30回中5回のみとなっていることから、カリキュラム・ポリシー4及びディプロマ・ポリシー4を達成するため、国際的な保健医療に係る講義回数や授業科目を増やすなど、必要かつ十分な授業内容を充実させること。</p>   | <p>「老年看護学原論」では、全15回中、5回を、「高齢者ケアシステム論」では、全15回中、6回を国際的な保健医療を取り扱う内容とし、シラバスに明記し学生に案内した。【資料2-1、2】（5）（6）</p>  | 履行済     |
| 認可時<br>(令和4年) | <p>専任教員資格審査の結果により、教員の補充が必要とされた授業科目については、確実に教員を充足させること。</p>  | <p>設置認可時の専任教員資格審査において、「老年精神看護学特論」「老年精神看護学特論演習Ⅰ」「高度実践老年看護学演習Ⅱ」の3つの授業科目について専任補充とされた。</p> <p>この3科目について専任教員を補充し、令和4年度第4回AC教員審査を受審した結果、可の判定をいただいた。【張平平教授、木谷尚美教授、青柳壽弥准教授】（5）（6）</p>   | 履行済     |

## 7 その他全般的事項

### <看護学研究科看護学専攻>

#### (1) 設置計画変更事項等

| 設置時の計画 | 変更内容・状況、今後の見通しなど |
|--------|------------------|
| 特になし   |                  |

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

#### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

##### ① 実施体制

###### a 委員会の設置状況

看護学部FD委員会

###### b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

第一回 令和5年5月31日（水）（出席委員4名／全委員数6名）

第二回 令和5年6月26日（月）（出席委員4名／全委員数6名）

第三回 令和5年7月24日（月）（出席委員6名／全委員数6名）

第四回 令和5年9月4日（月）（出席委員5名／全委員数5名）

第五回 令和5年10月4日（水）（出席委員4名／全委員数4名）

第六回 令和5年11月29日（水）（出席委員4名／全委員数4名）

第七回 令和6年1月17日（水）（出席委員4名／全委員数4名）

第八回 令和6年3月8日（金）（出席委員4名／全委員数4名）

第九回 令和6年3月27日（水）（出席委員4名／全委員数4名）

###### c 委員会の審議事項等

FD委員会の計画、FD研修会の評価アンケートの実施

##### ② 実施状況

###### a 実施内容

・ 授業方法について研究会

テーマ「学生の主体的な学びに向けたアクティブラーニングの展開」

###### b 実施方法

講演及びグループワークにより実施

###### c 開催状況（教員の参加状況含む）

参加者49名／全教員数57名

- d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
  - 学生が主体的に学びを進められるように、学生の指導に活用
- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
  - a 実施の有無及び実施時期
  - ・実施（前期及び後期の授業後半時期）
  - b 教員や学生への公開状況、方法等
  - ・校内掲示板での刑事、科目担当教員には個別に結果を送付

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。  
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況

(5月1日現在の委員名簿も添付してください。委員に変更がある場合は、その内容と各区分を踏まえた委員構成であることを説明してください。併せて、別途委員名簿を変更内容が分かるよう加筆の上、提出してください。)

該当なし

b 委員会の開催状況（回数や開催日など）

該当なし

c 委員会の審議事項等

該当なし

d その他

該当なし

② 審議状況

a 審議した内容

該当なし

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

該当なし

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

該当なし

#### (4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

令和6年5月1日時点で、収容定員を満たしており、設立の趣旨・目的に沿って進行している。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・ 令和6年7月31日 公表

b 公表方法

・ 大学ホームページ上に公開予定（令和6年7月末を予定）

③ 認証評価を受ける計画

（専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。）

・ 令和5年度に評価機関（一般財団法人大学教育質保証・評価センター）の評価を受審した。

（注） ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

#### (5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和5年度）

a 公表予定の有無 [  有 ・  無 ]

≪ aで「有」の場合 ≫

b 公表（予定）時期 [  調査結果公表後1ヶ月以内 ・  公表後2～3ヶ月以内 ・  公表後3ヶ月以降 ]

c 公表方法 [  ウェブサイトへの掲載 ・  その他（ ） ]

≪ aで公表「無」の場合 ≫

d 公表しない理由 [ ]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。